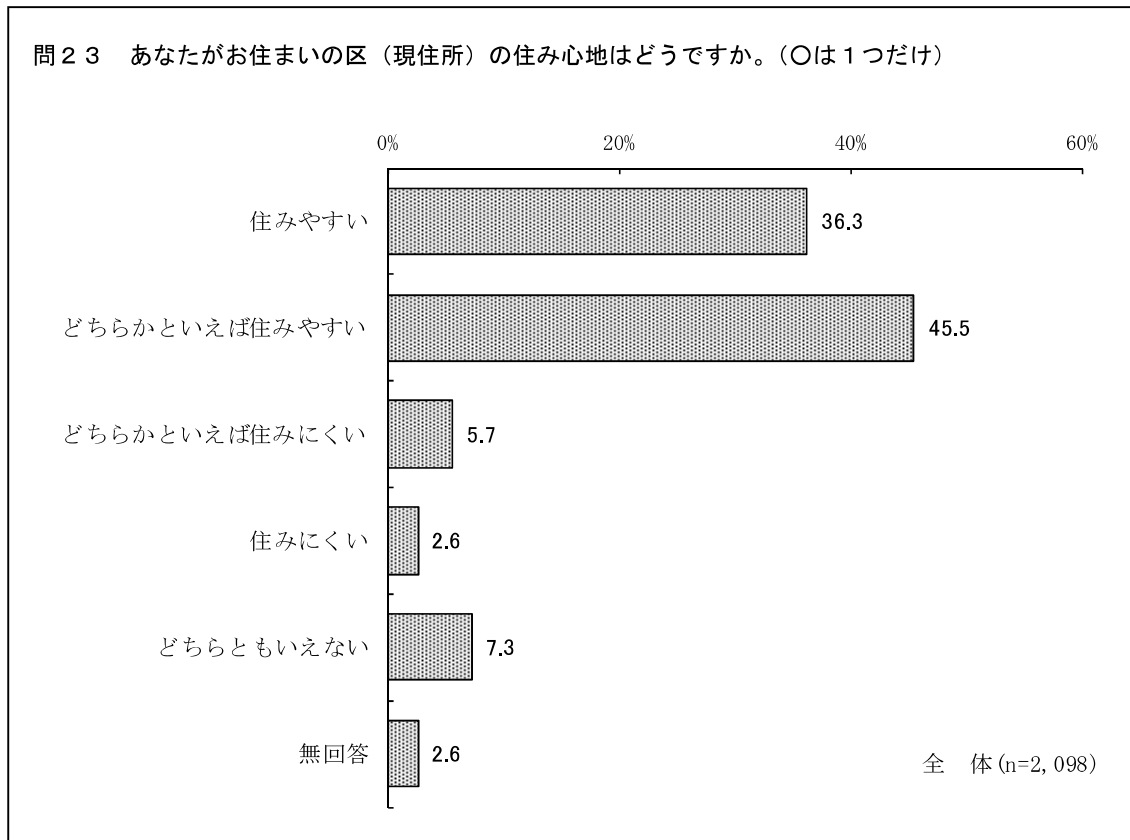


3. 地域生活について

(1) 現住所の住み心地



8割強が「住みやすい」と回答

【全体結果】

現住所の住み心地については、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせると81.8%となり、8割以上の方が『住みやすい』と回答している。

一方で、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」は合わせて8.3%となり、『住みにくい』と回答した人の割合は1割に満たない。

【属性別結果】（図 3-1 参照）

① 区別

「住みやすい」については、中央区（42.7%）の割合が最も高くなっている。「住みやすい」計の割合については、中央区（89.0%）と西区（87.6%）で高く、9割弱を占めている。一方、「住みにくい」計の割合は、南区（14.5%）で高くなっている。

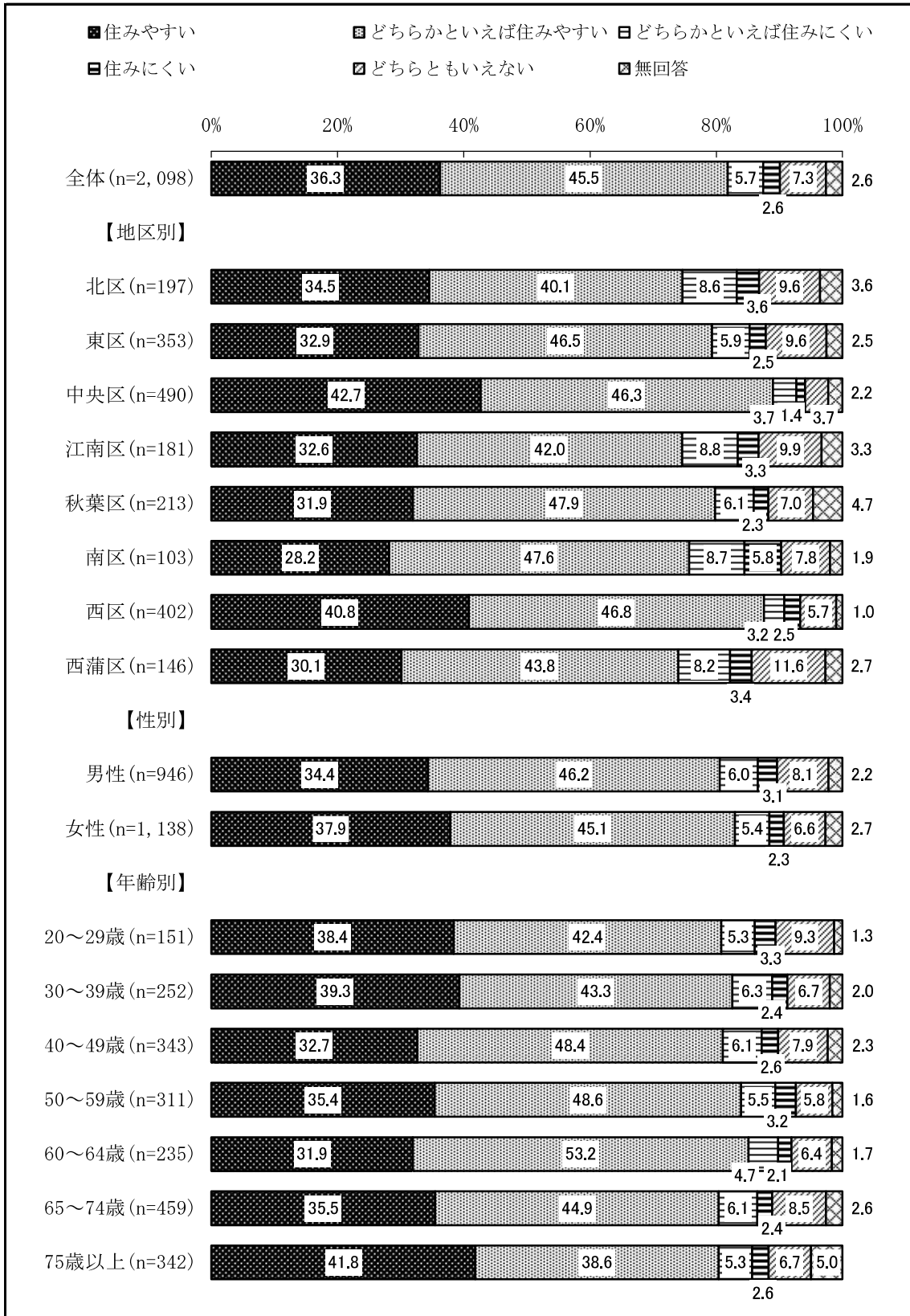
②性別

性別では、大きな差は見られない。

③年齢別

「住みやすい」の割合は、75歳以上（41.8%）の割合が4割強で高くなっている。「どちらかといえば住みやすい」の割合は、60～64歳（53.2%）で高く半数を超えている。

図3-1 現住所の住み心地（地区別／性別／年齢別）



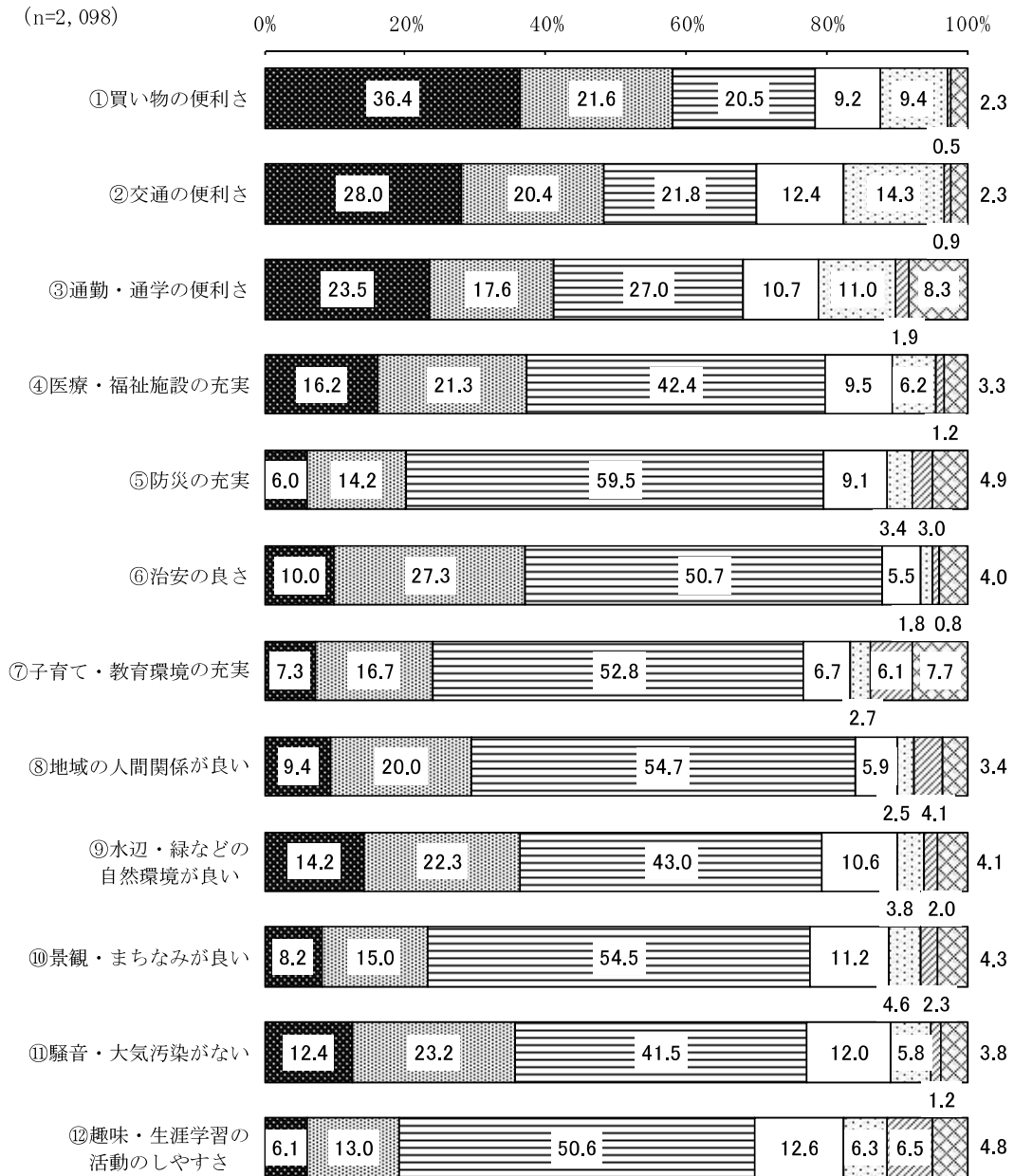
(2) 現住所についての感想

問24 あなたのお住まいの区（現住所）について、どのようにお感じですか。

それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

(○は①～⑫それぞれ1つずつ)

■良い ■どちらかといえば良い ■ふつう □どちらかといえば悪い □悪い ■気にしない ■無回答



【全体結果】

現住所における、各項目に対する良し悪しの感想をみると、「良い（「良い」と「どちらかといえば良い」の合計）」の割合が最も高いのは『① 買い物の便利さ』（58.0%）である。以下、『② 交通の便利さ』（48.4%）、『③ 通勤・通学の便利さ』（41.1%）、『④ 医療・福祉施設の充実』（37.5%）、『⑥ 治安の良さ』（37.3%）が続き、上位を構成している。

一方で、「悪い（「悪い」と「どちらかといえば悪い」の合計）」の割合が高いのは『② 交通の便利さ』（26.7%）、『③ 通勤・通学の便利さ』（21.7%）がそれぞれ2割台となっている。以下、『⑫ 趣味・生涯学習の活動のしやすさ』（18.9%）、『⑪ 騒音・大気汚染がない』（17.8%）などが続いている。

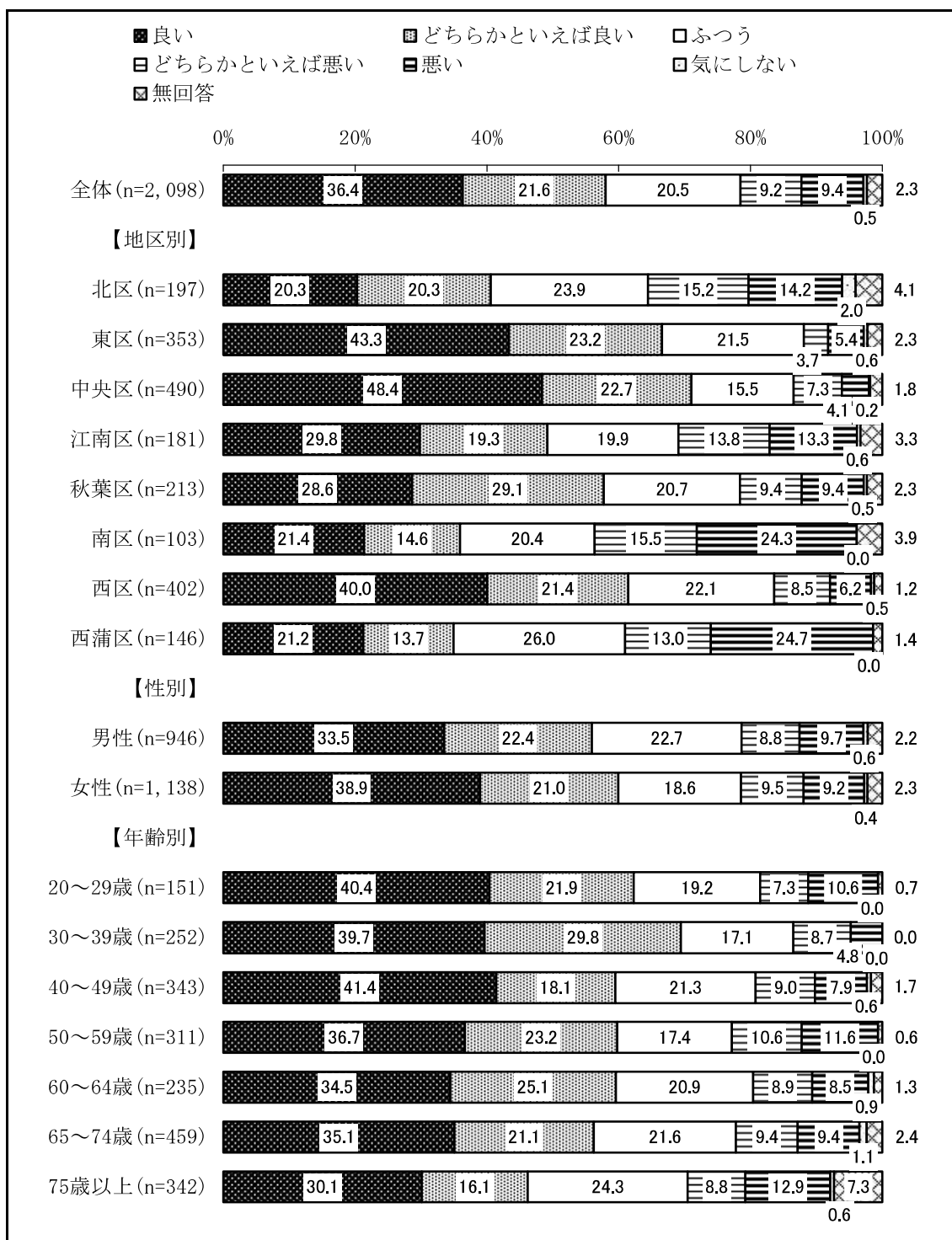
また、「ふつう」の割合が過半数を占める項目は、『⑤ 防災の充実』（59.5%）、『⑧ 地域の人間関係が良い』（54.7%）、『⑩ 景観・まちなみが良い』（54.5%）、『⑦ 子育て・教育環境の充実』（52.8%）、『⑥ 治安の良さ』（50.7%）、『⑫ 趣味・生涯学習の活動のしやすさ』（50.6%）である。

【属性別結果】

次ページ以降に地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

図3-2 現住所についての感想（地区別／性別／年齢別）

① 買い物の便利さ

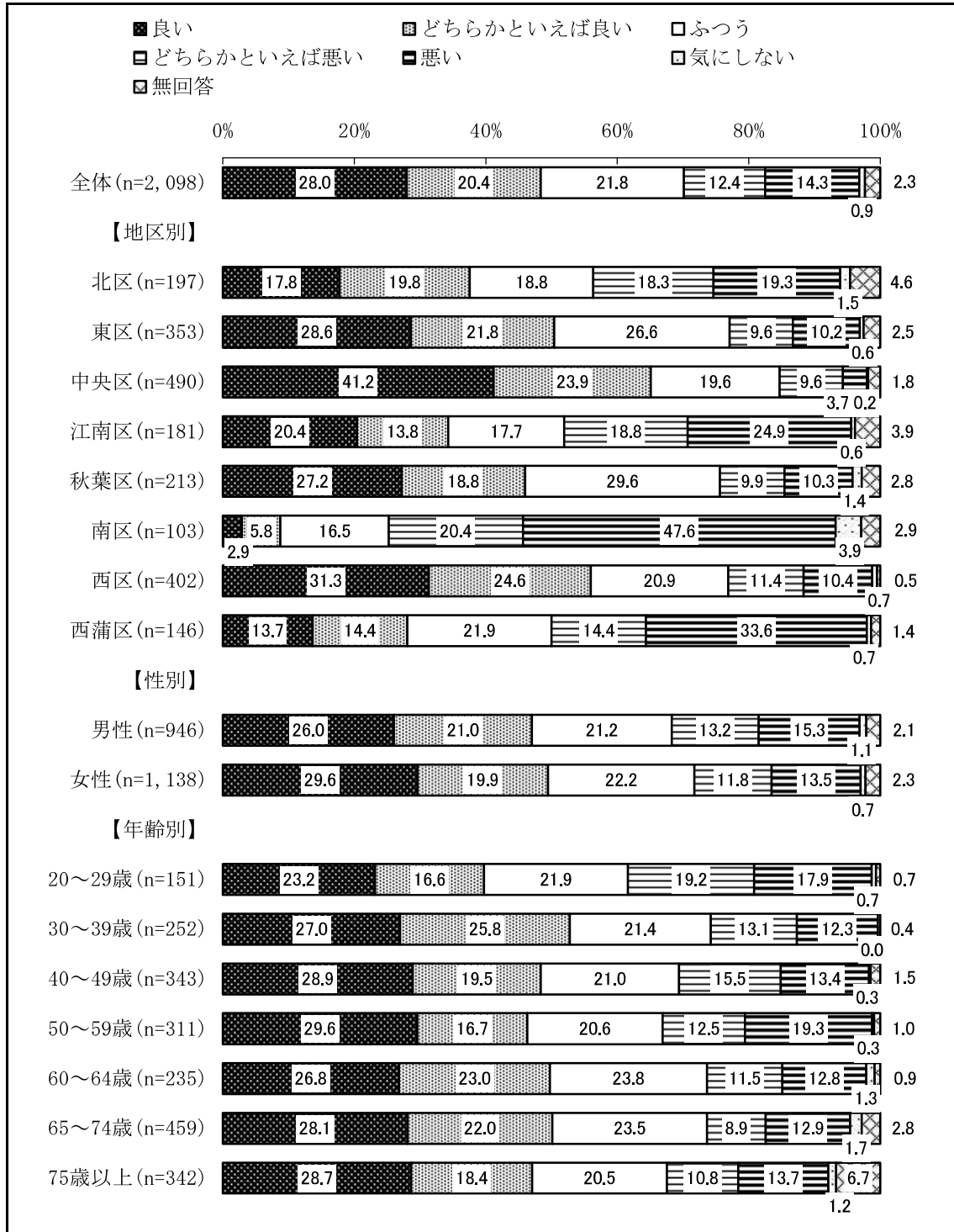


地区別では、「良い」計の割合は、東区（66.5%）と中央区（71.1%）が高く、7割前後となっている。一方、「悪い」計の割合は、北区（29.4%）と江南区（27.1%）と南区（39.8%）が高くなっている。

性別では大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、30代（69.5%）が最も高く、7割弱となっている。

② 交通の便利さ

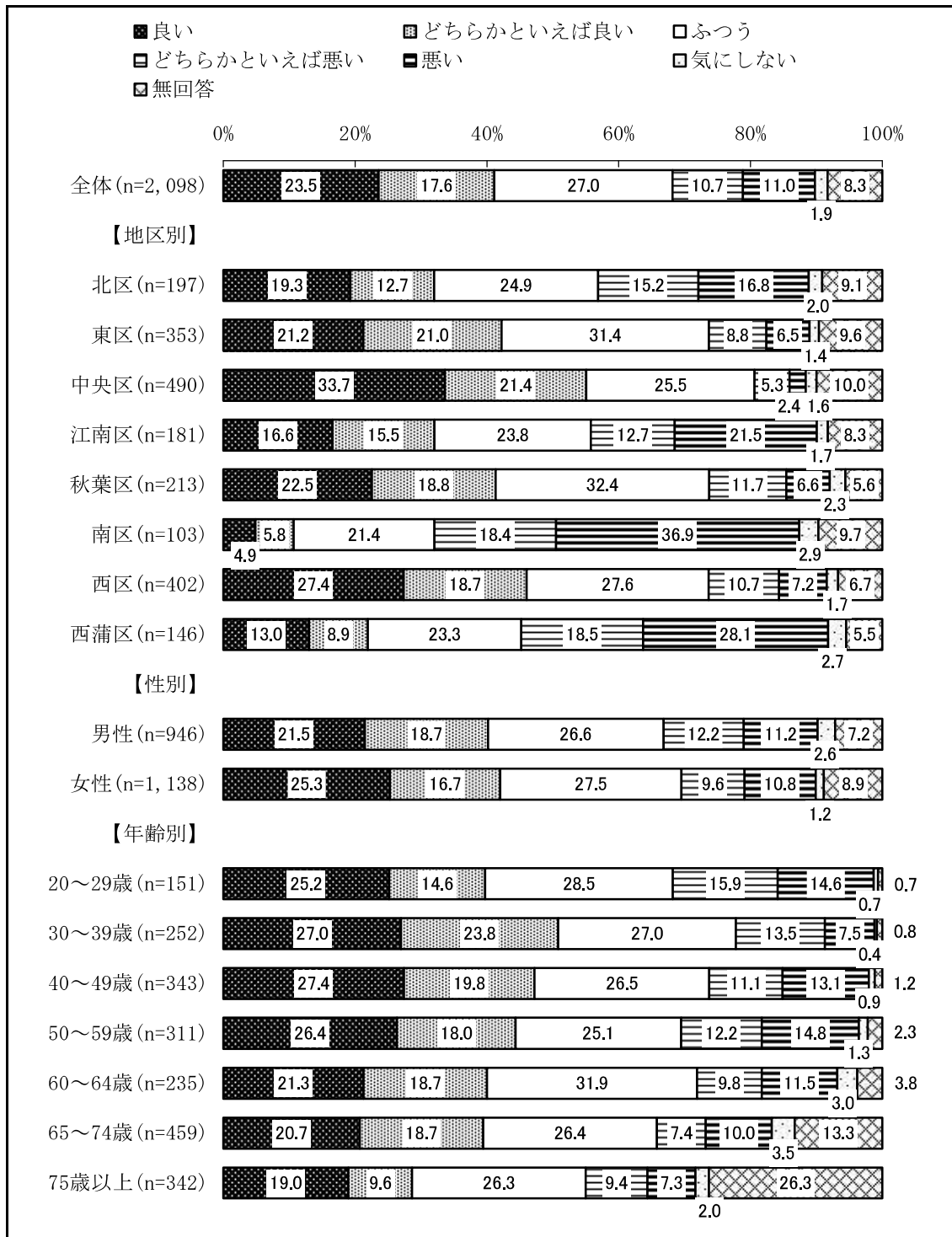


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（65.1%）と西区（55.9%）が6割前後で高くなっている。「悪い」計の割合は、南区（68.0%）が目立って高く、7割弱を占めている。また、北区（37.6%）、江南区（43.7%）、西蒲区（48.0%）も「悪い」計の割合が高くなっている。

性別では大きな差はみられない。

年齢別では、「悪い」計の割合は、20代（37.1%）と50代（31.8%）が高くなっている。

③ 通勤・通学の便利さ

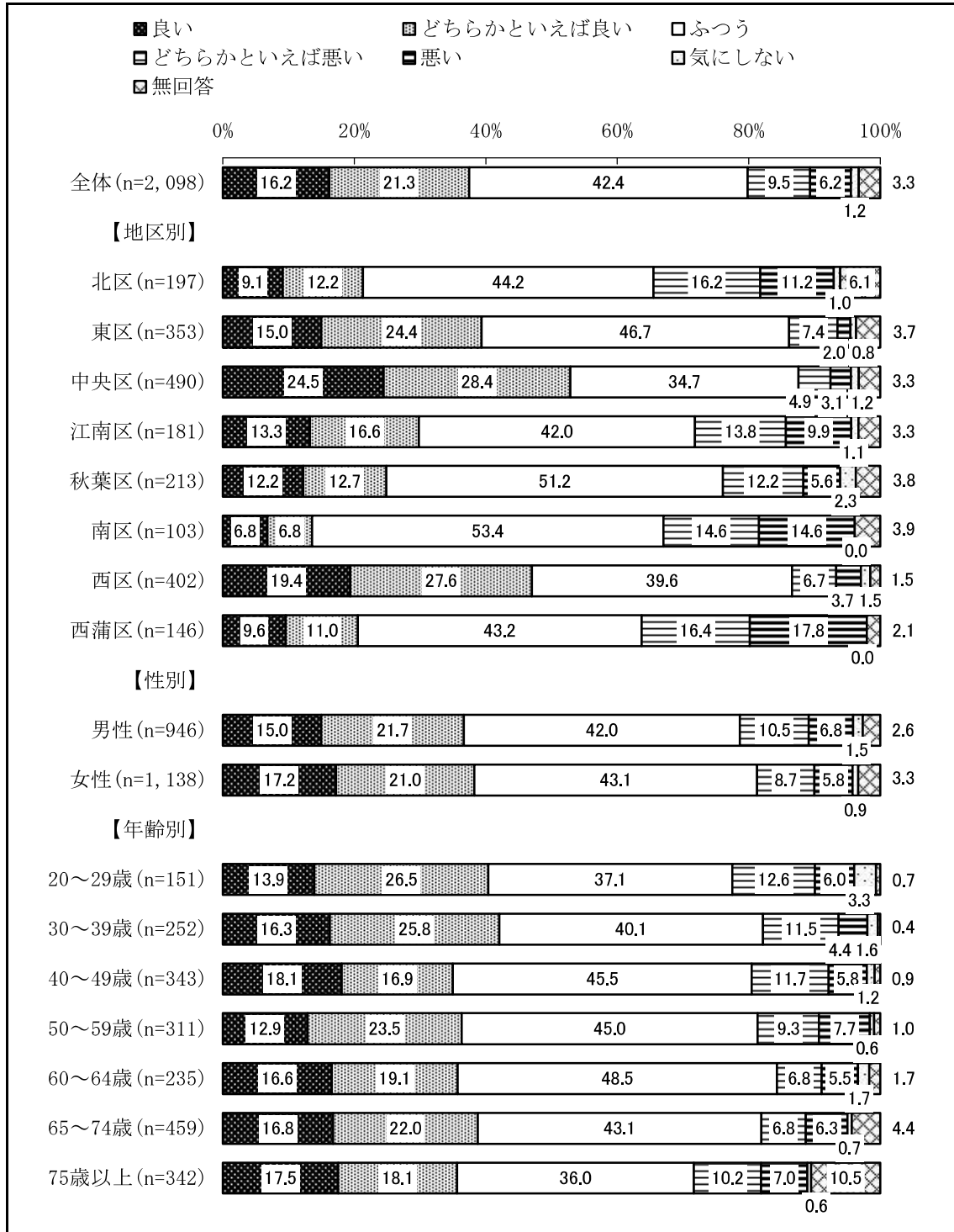


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（55.1%）が最も高く、半数を超えている。「悪い」計の割合は、南区（55.3%）で目立って高く、半数強を占めている。また、北区（32.0%）、江南区（34.2%）、西蒲区（46.6%）も「悪い」計の割合が高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、30代（50.8%）で最も高く、半数強を占めている。「悪い」計の割合は、20代（30.5%）と50代（27.0%）が高くなっている。

④ 医療・福祉施設の充実

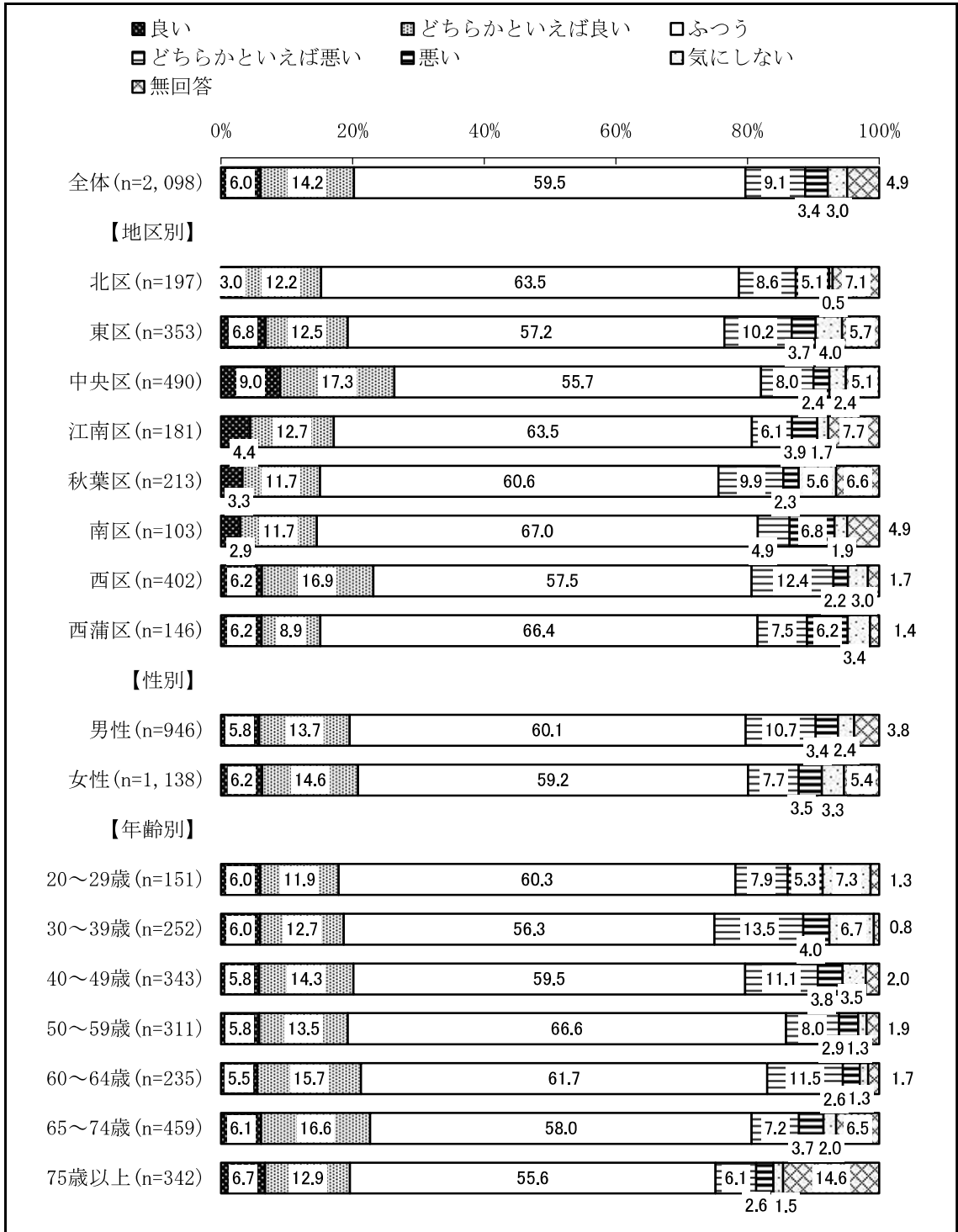


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（52.9%）と西区（47.0%）が高くなっている。「悪い」計の割合は、北区（27.4%）、江南区（23.7%）、南区（29.2%）、西蒲区（34.2%）が高く、3割前後となっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、30代（42.1%）が最も高くなっている。

⑤ 防災の充実

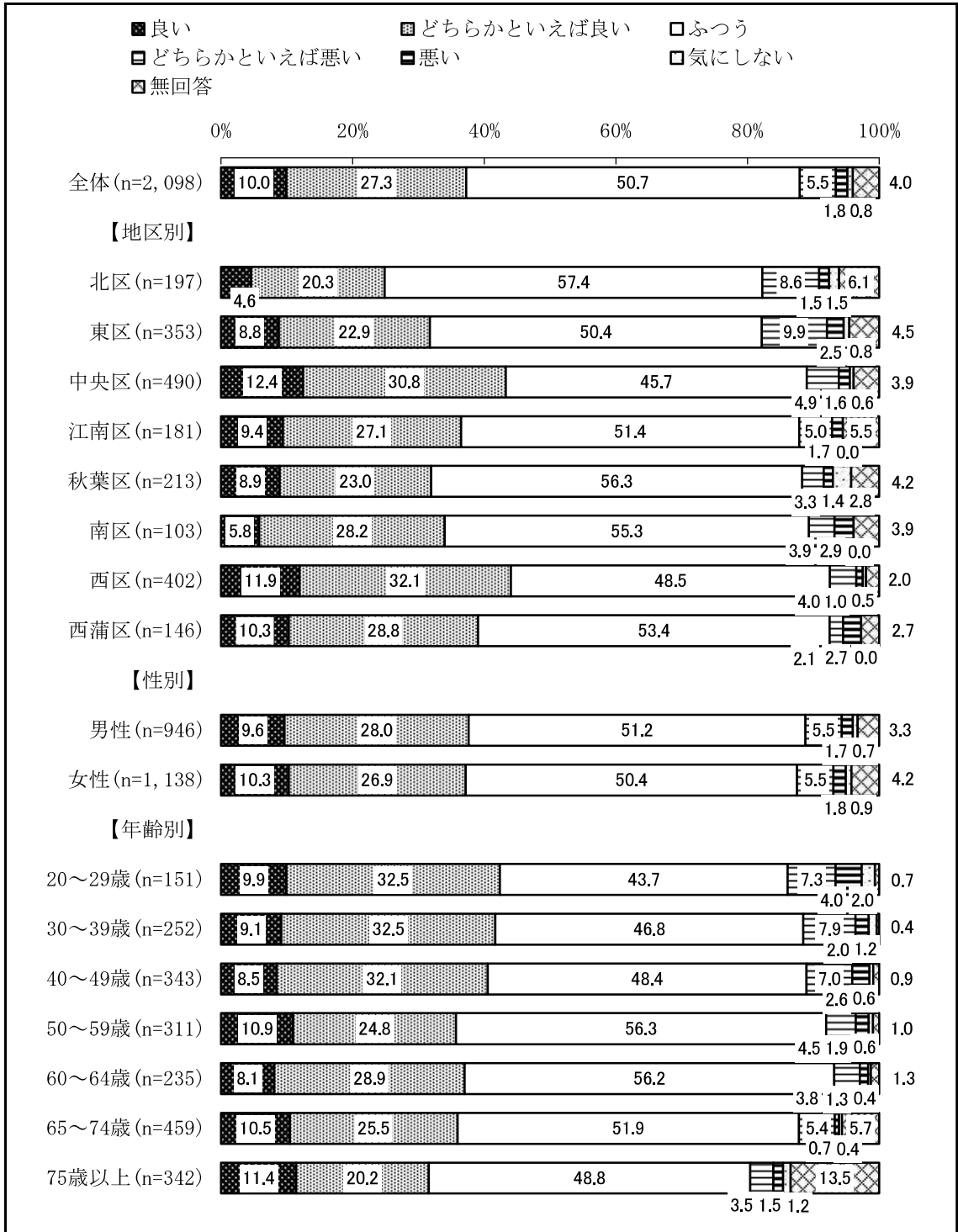


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（26.3%）が最も高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「悪い」計の割合は、30代（17.5%）が最も高く、2割弱になっている。

⑥ 治安の良さ

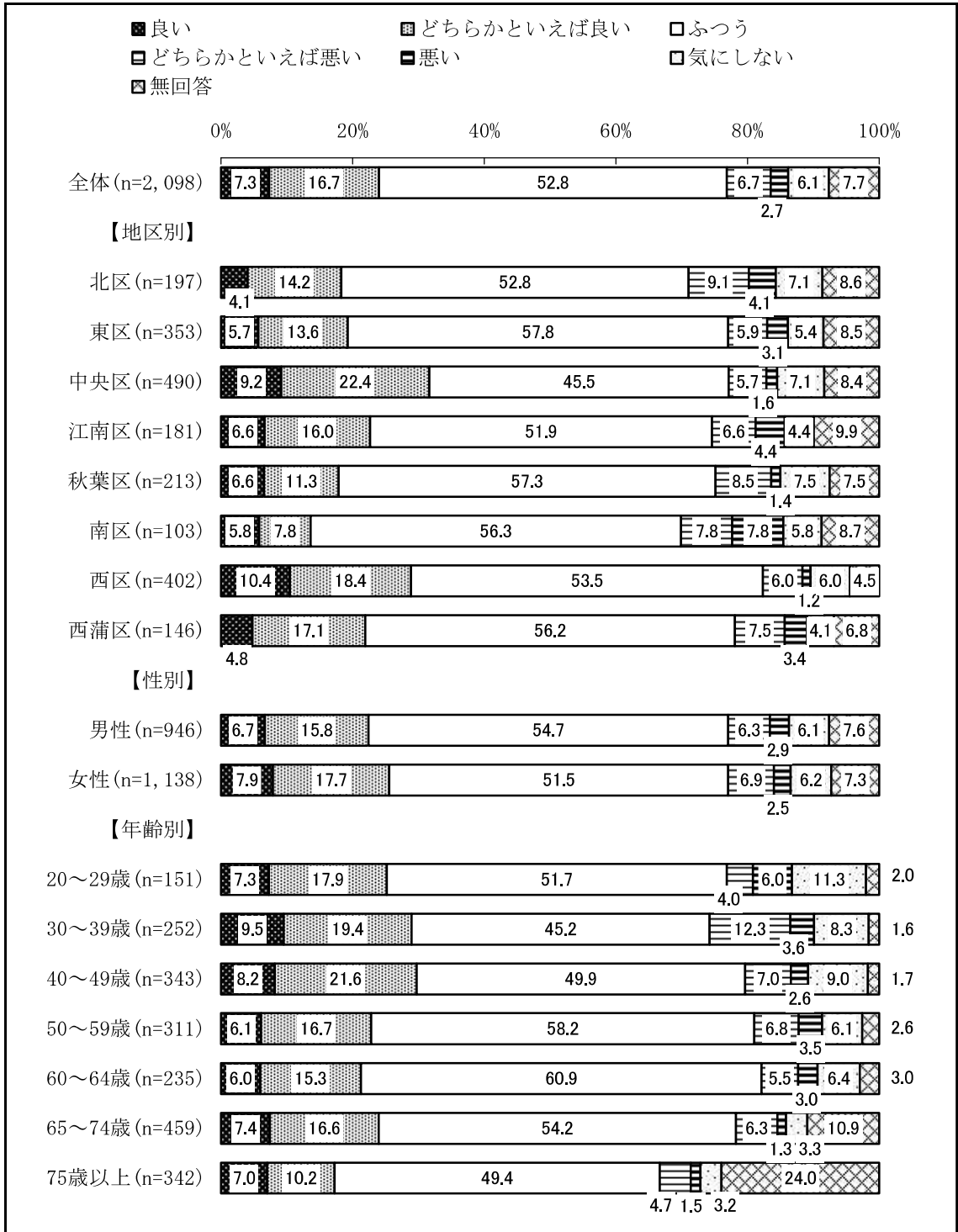


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（43.2%）と西区（44.0%）が高く、4割強となっている。「悪い」計の割合は、東区（12.4%）が高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、20代（42.4%）が最も高くなっている。

⑦ 子育て・教育環境の充実



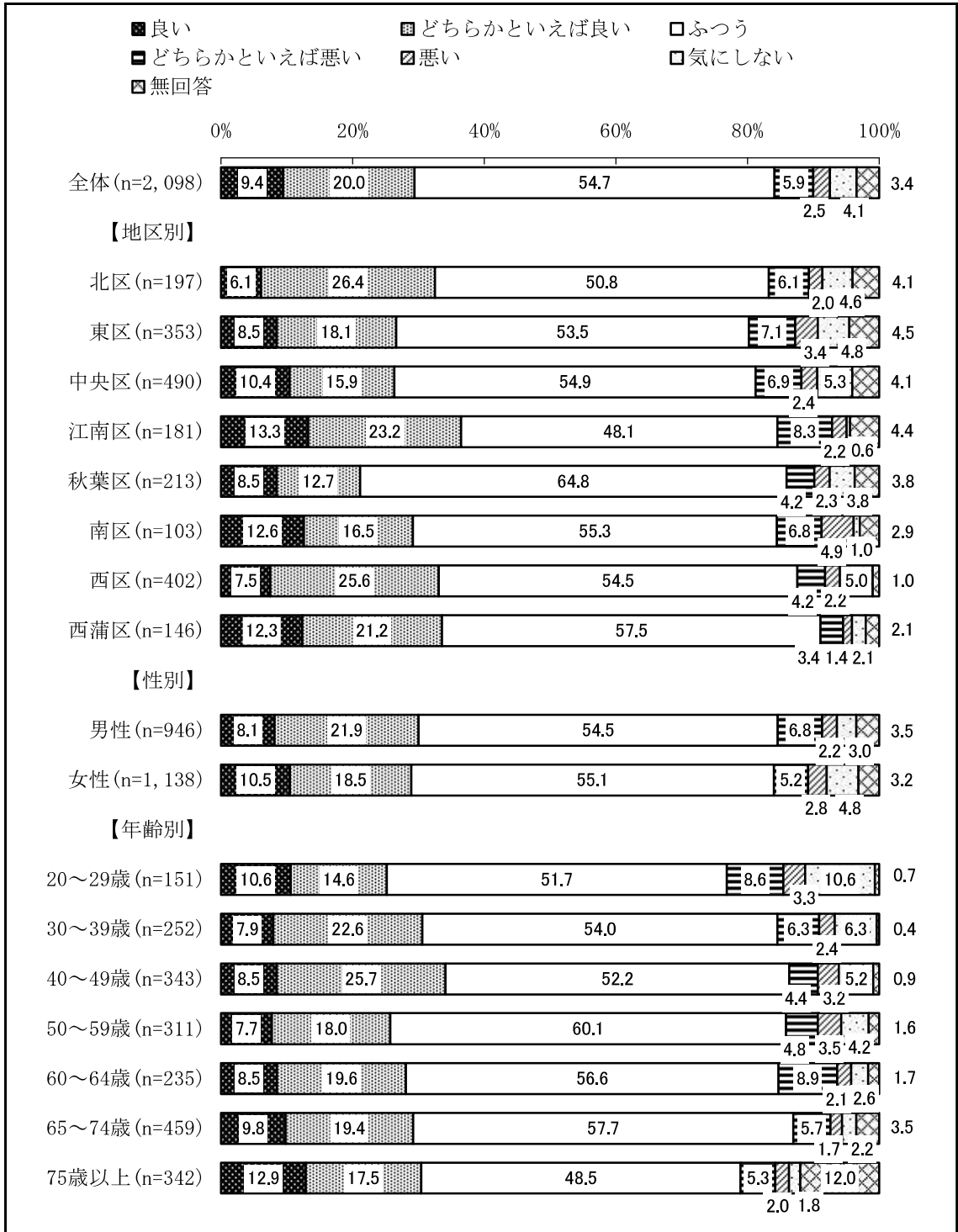
地区別では、「良い」計の割合は、中央区（31.6%）が最も高く、3割強を占めている。

「悪い」計の割合は、南区（15.6%）が最も高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、30代（28.9%）と40代（29.8%）が高く、3割程度になっている。また、30代では、「悪い」計（15.9%）の割合も最も高くなっている。

⑧ 地域の間関係が良い

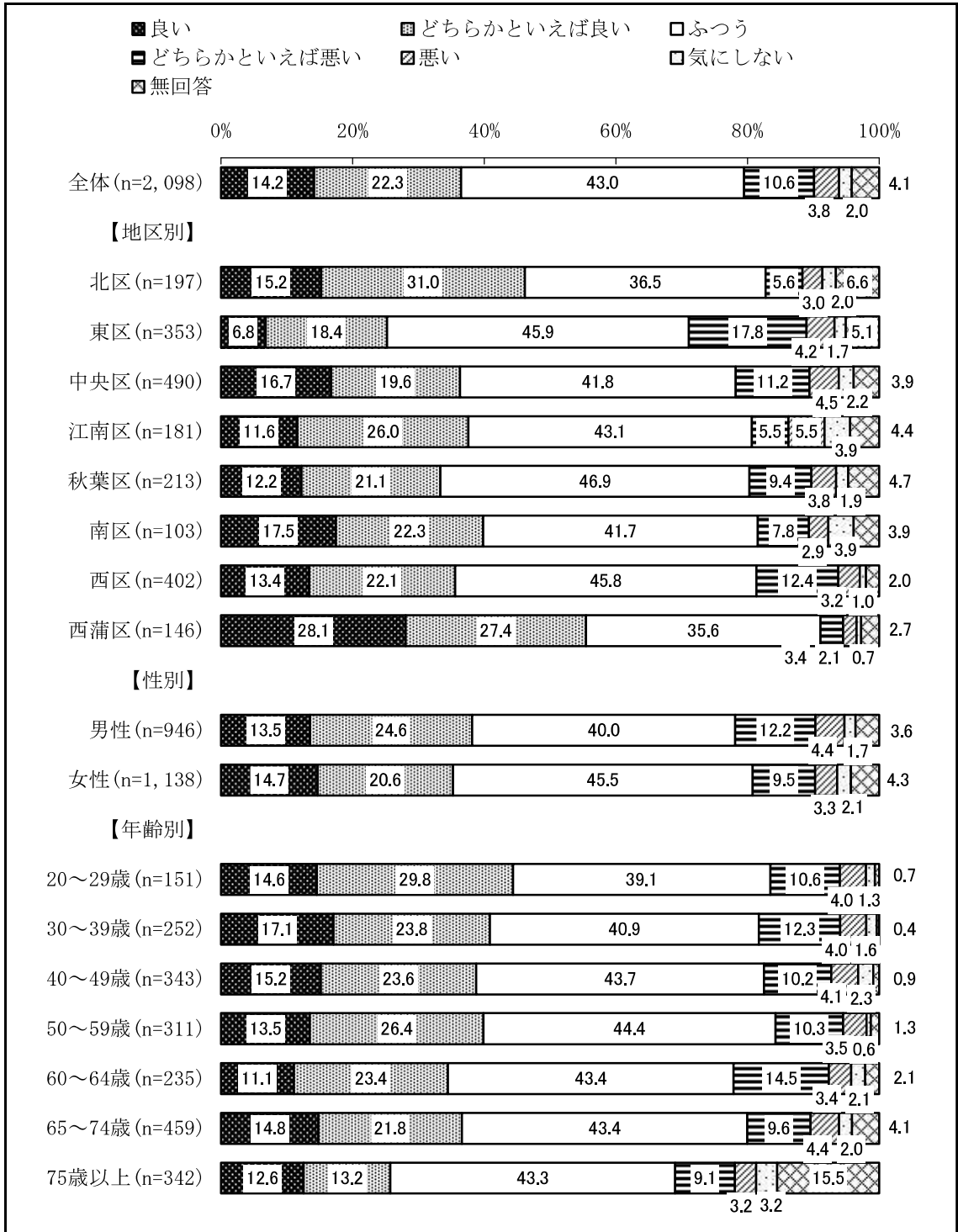


地区別では、「良い」計の割合は、江南区（36.5%）が最も高く、4割弱になっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、40代（34.2%）で最も高くなっている。

⑨ 水辺・緑などの自然環境が良い

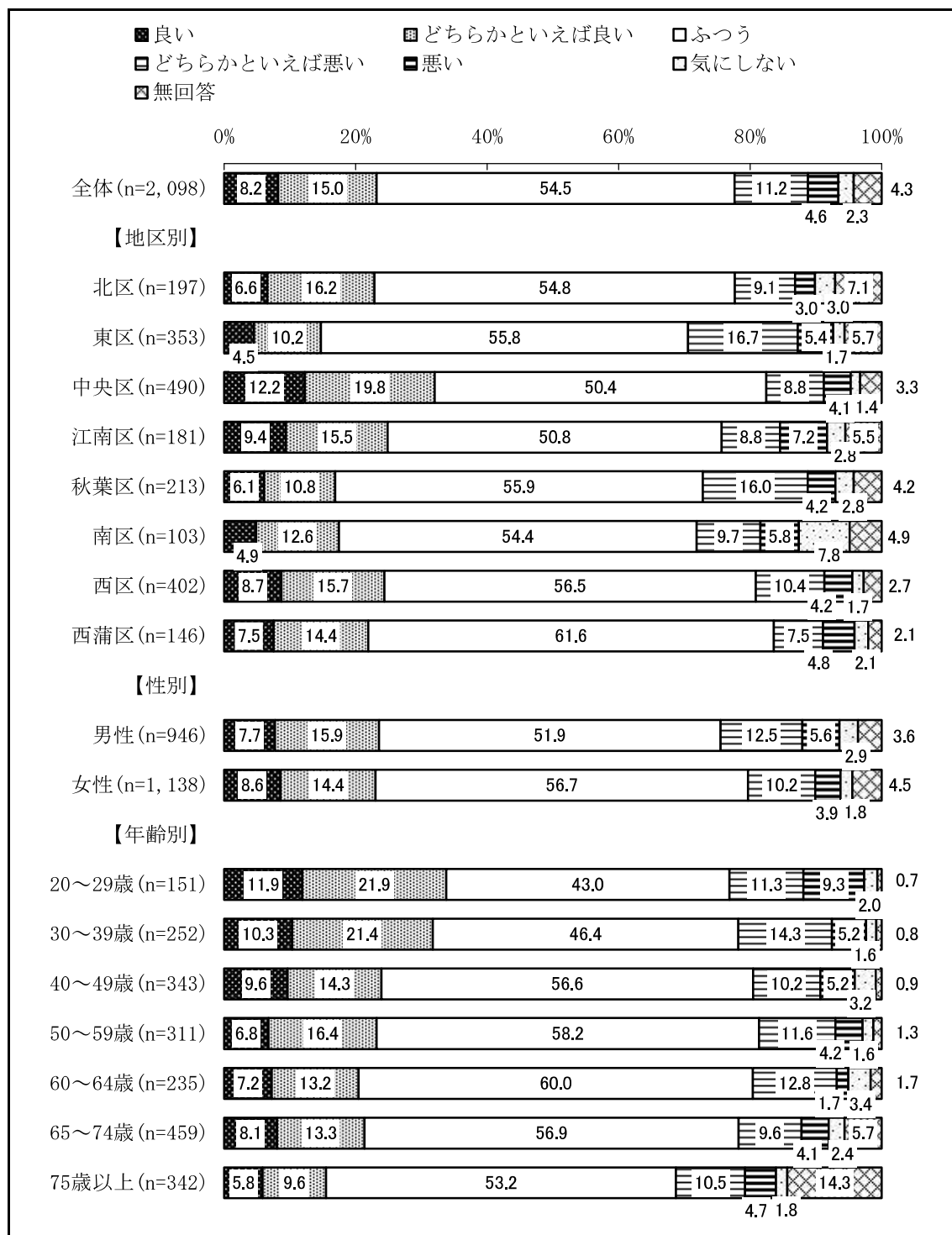


地区別では、「良い」計の割合は西蒲区（55.5%）が目立って高く、半数強を占めている。次いで、北区（46.2%）も半数弱と高い割合で続いている。「悪い」計の割合は、東区（22.0%）が最も高く、2割強となっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、20代で「良い」計（44.4%）の割合が高くなっている。

⑩ 景観・まちなみが良い

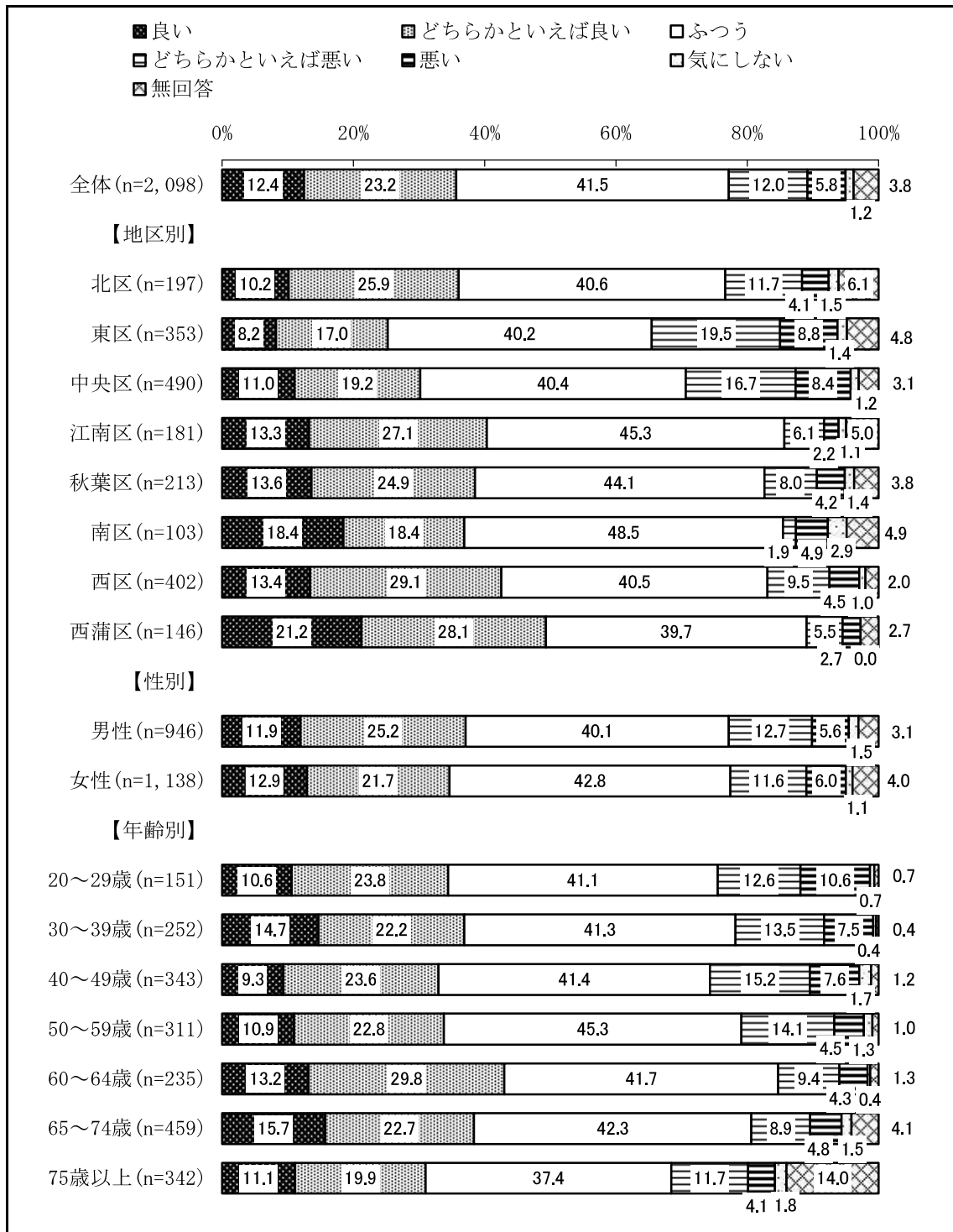


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（32.0%）が最も高く、3割を超えている。「悪い」計の割合は、東区（22.1%）が最も高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、30代以下で高く、20代（33.8%）では全体の3分の1を占めている。

⑪ 騒音・大気汚染がない



地区別では、「良い」計の割合は、西区（42.5%）と西蒲区（49.3%）が高くなっている。

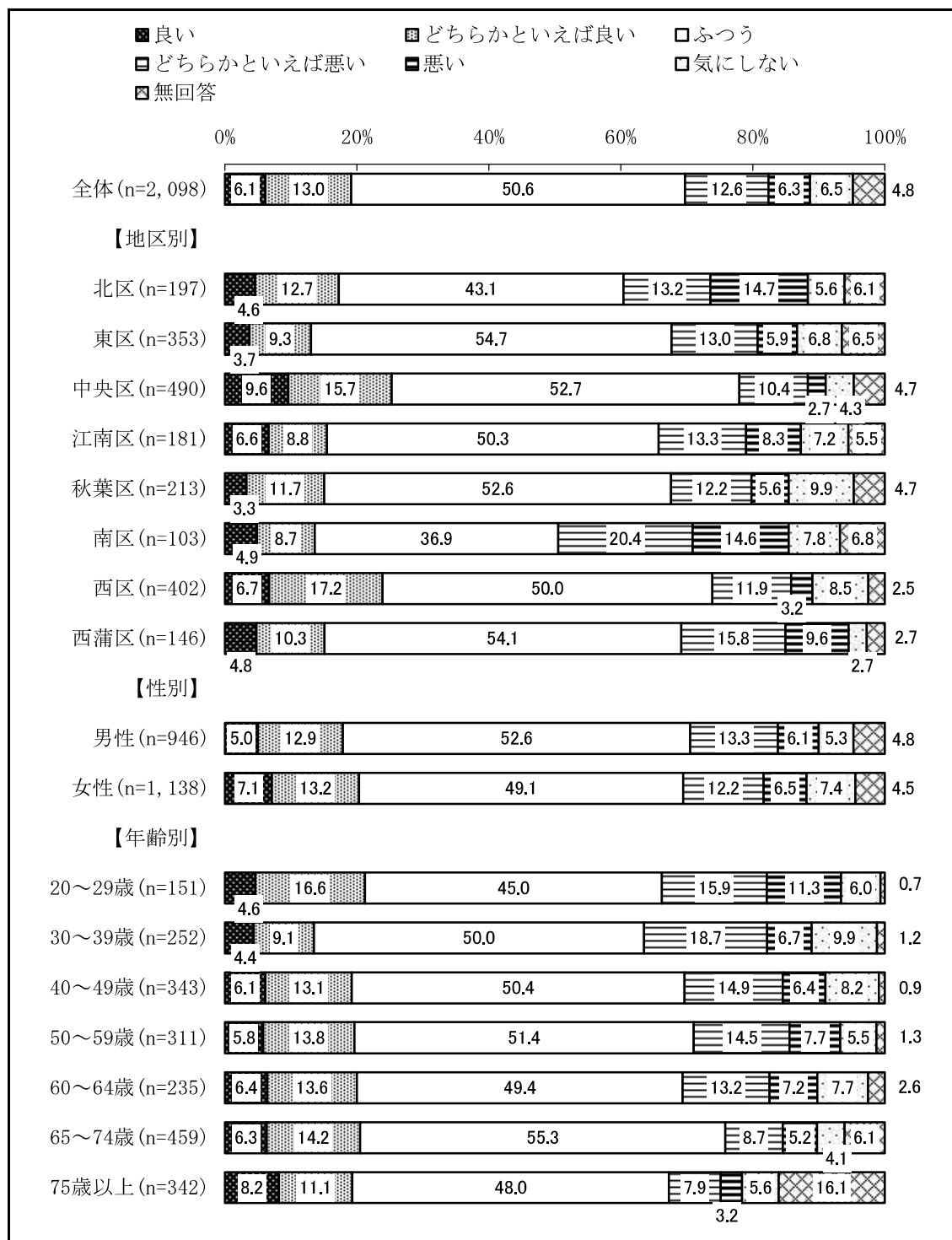
「悪い」計の割合は、東区（28.3%）と中央区（25.1%）が高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、60～64歳（43.0%）が最も高く、4割強を占めている。

「悪い」計の割合は、20代（23.2%）が最も高くなっている。

⑫ 趣味・生涯学習の活動のしやすさ



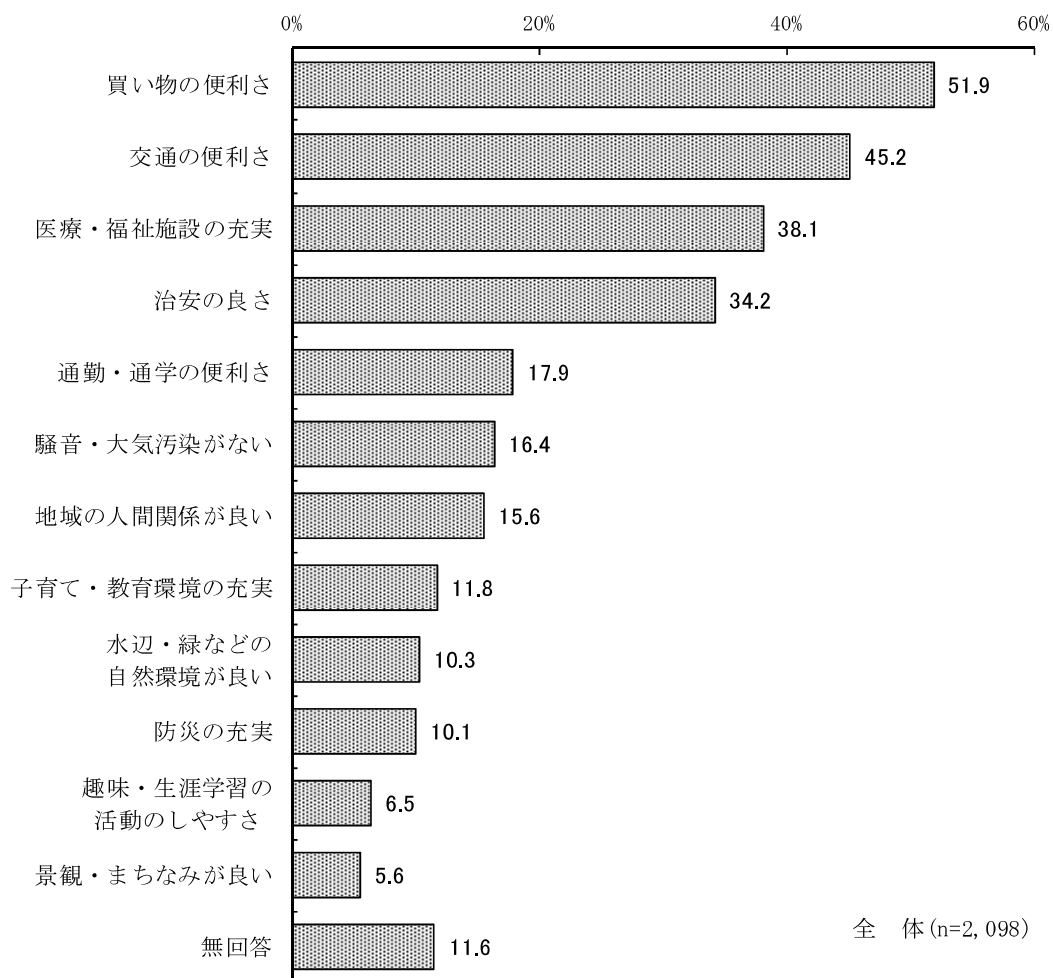
地区別では、「良い」計の割合は、中央区（25.3%）が最も高く、全体の4分の1を占めている。「悪い」計の割合は、北区（27.9%）と南区（35.0%）と西蒲区（25.4%）が高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「悪い」計の割合は、20代（27.2%）と30代（25.4%）が高くなっている。

(3) 住み心地に対して特に重要視すること

問25 上記の表の中で、あなたが住み心地に対して特に重要視する項目を3つ選んで、下の回答欄に番号(①～⑫)をご記入ください。



— 「買い物の便利さ」「交通の便利さ」「医療・福祉施設の充実」が特に重要視されている —

【全体結果】

住み心地に対して特に重要視する項目(複数回答)は、「買い物の便利さ」(51.9%)が最も高い。以下、「交通の便利さ」(45.2%)が4割台で、「医療・福祉施設の充実」(38.1%)と「治安の良さ」(34.2%)が3割台で続き、上位を構成している。

上記以外の項目は割合が1割台、もしくは1割未満である。

【属性別結果】（図 3-3 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「買い物の便利さ」については、中央区（59.6%）の割合が高くなっている。「医療・福祉施設の充実」の割合は秋葉区（44.1%）と西蒲区（43.2%）、「通勤・通学の便利さ」の割合は北区（24.9%）、「地域の人間関係が良い」と「趣味・生涯学習の活動のしやすさ」の割合は南区（それぞれ 21.4%、12.6%）が最も高くなっている。

②性別

「買い物の便利さ」と「交通の便利さ」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

③年齢別

「買い物の便利さ」と「通勤・通学の便利さ」の割合は 20 代、「治安の良さ」と「子育て・教育環境の充実」は 30 代、「交通の便利さ」は 40 代、「医療・福祉施設の充実」は 60～64 歳の割合が、それぞれ最も高くなっている。

図3-3 住み心地に対して特に重要視すること（地区別／性別／年齢別） 1/2

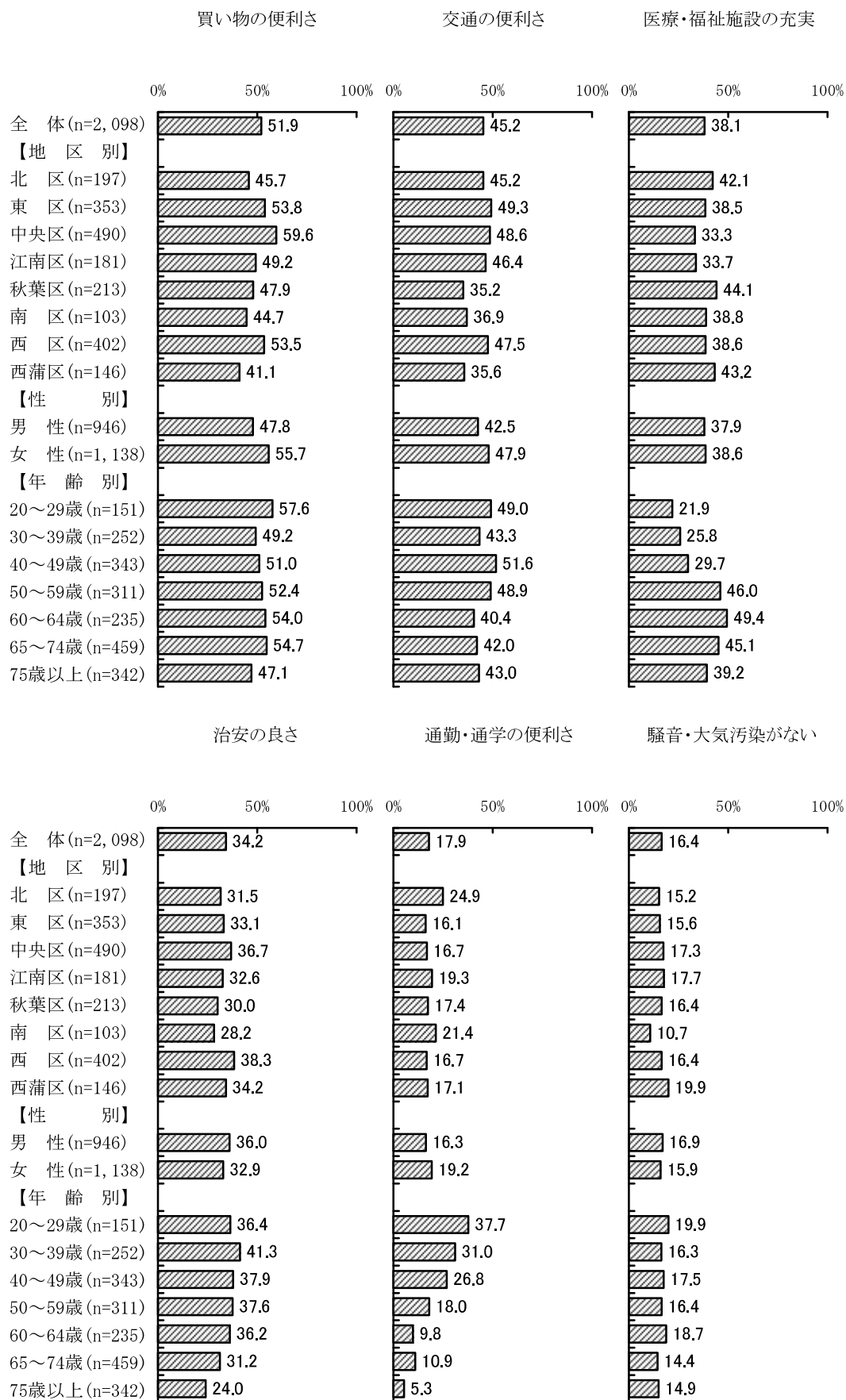
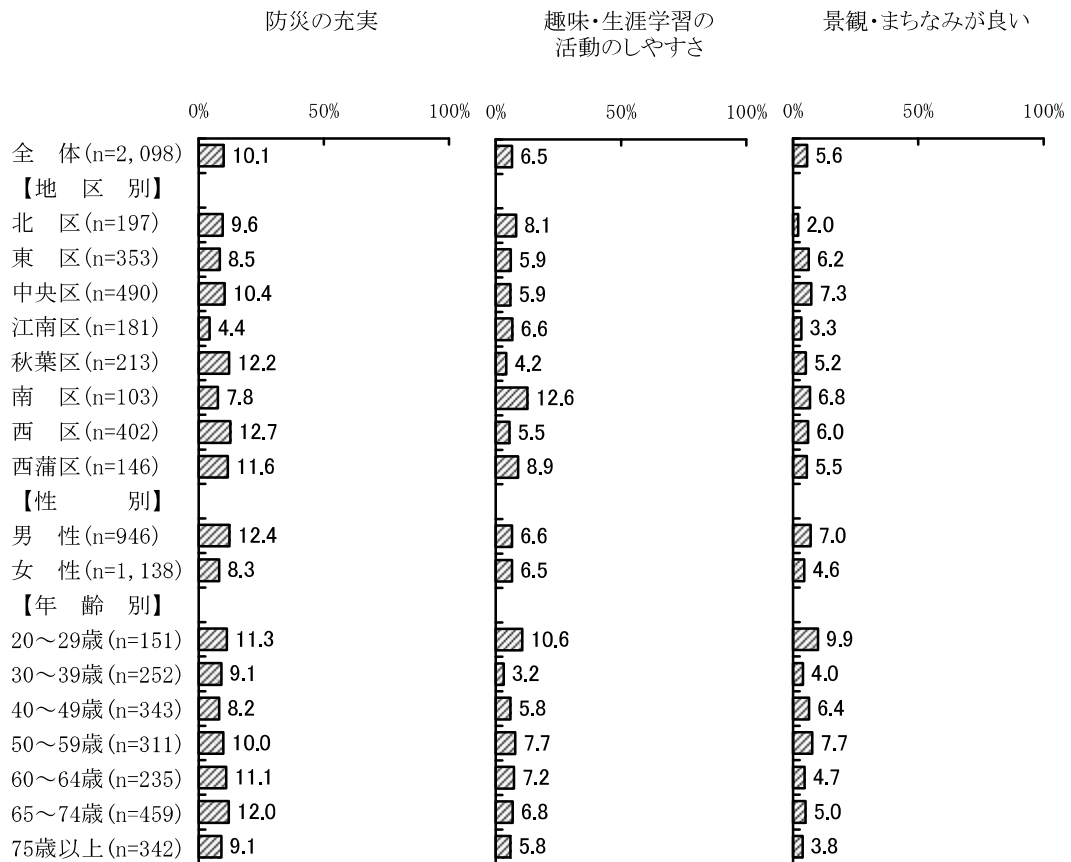
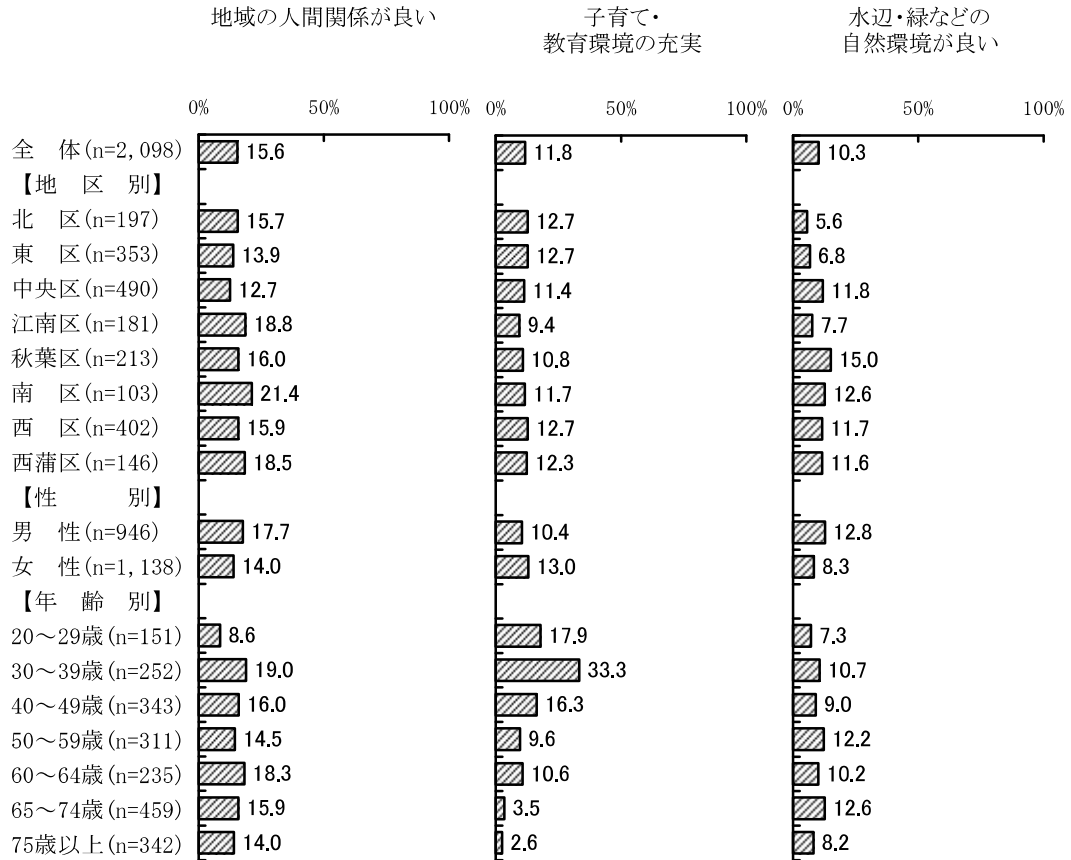
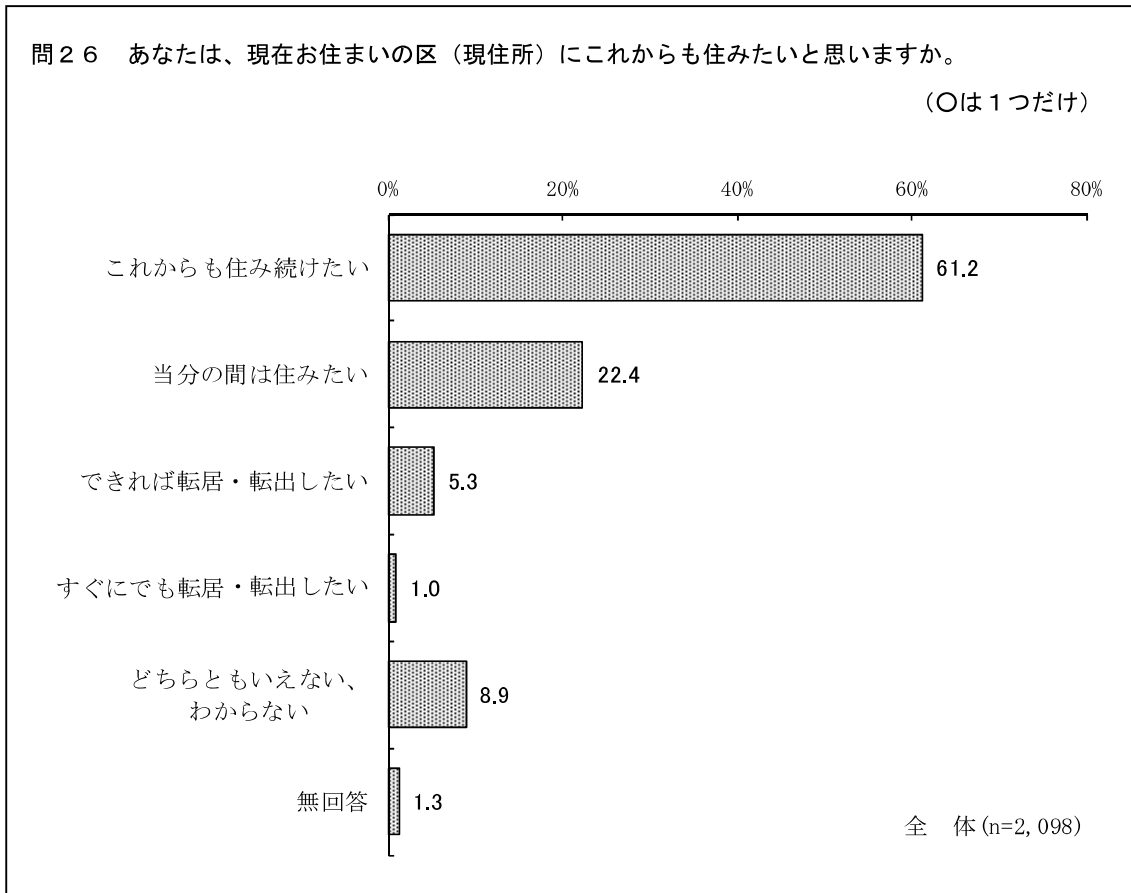


図3-3 住み心地に対して特に重要視すること（地区別／性別／年齢別） 2/2



(4) 現住所での居住継続意向



——— 現住所に「住みたい」が圧倒的に多い ———

【全体結果】

現住所にこれからも住みたいと思うかどうかについては、「これからも住みたい」(61.2%)の割合が最も高くなっている。これに「当分の間は住みたい」が2割強(22.4%)で続き、この2つを合わせた「住みたい」計は8割強(83.6%)に達する。「できれば転居・転出したい」(5.3%)や「すぐにでも転居・転出したい」(1.0%)は少ない。

【属性別結果】(図3-4参照)

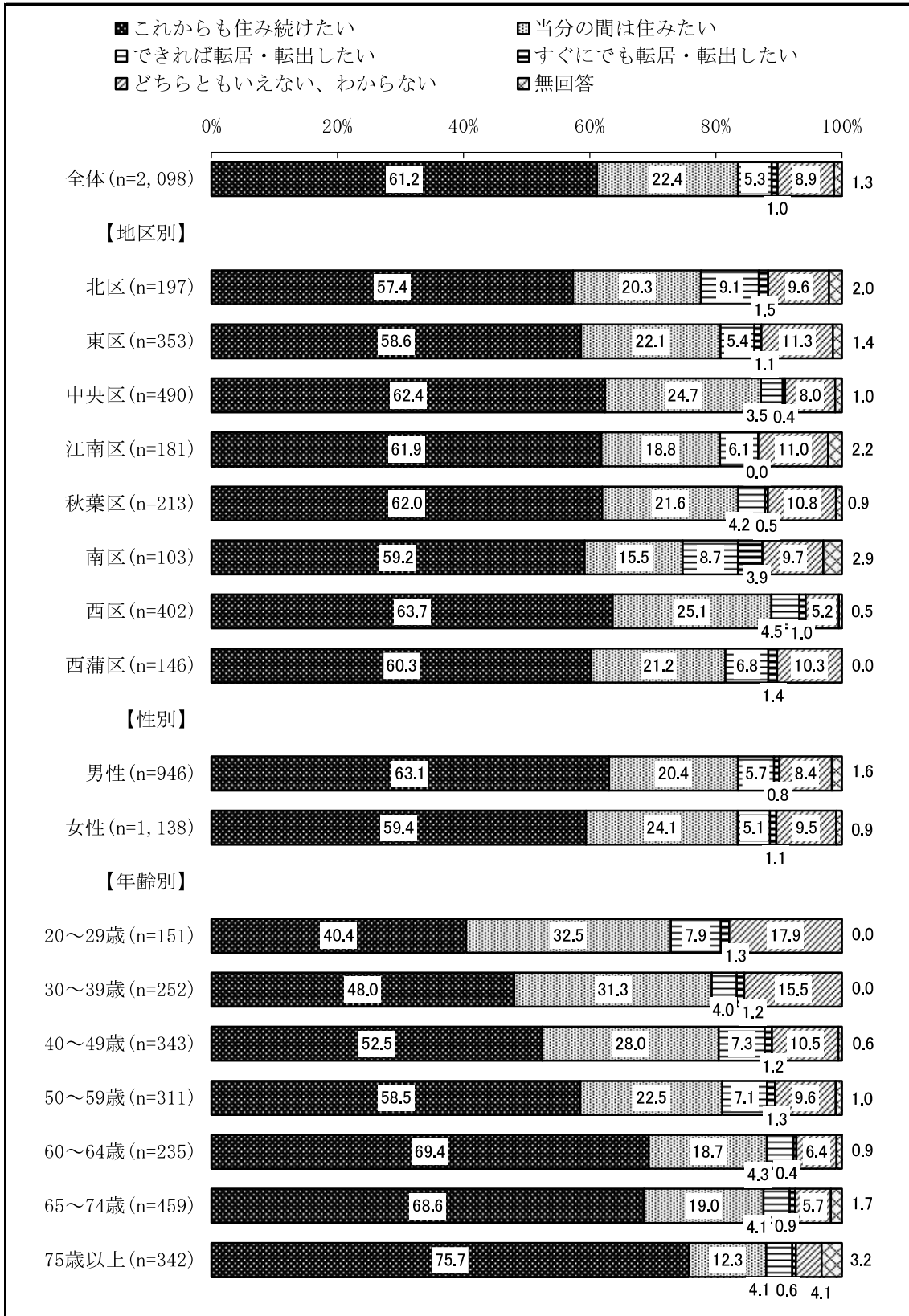
①②地区別、性別

地区別、性別では、大きな差はみられない。

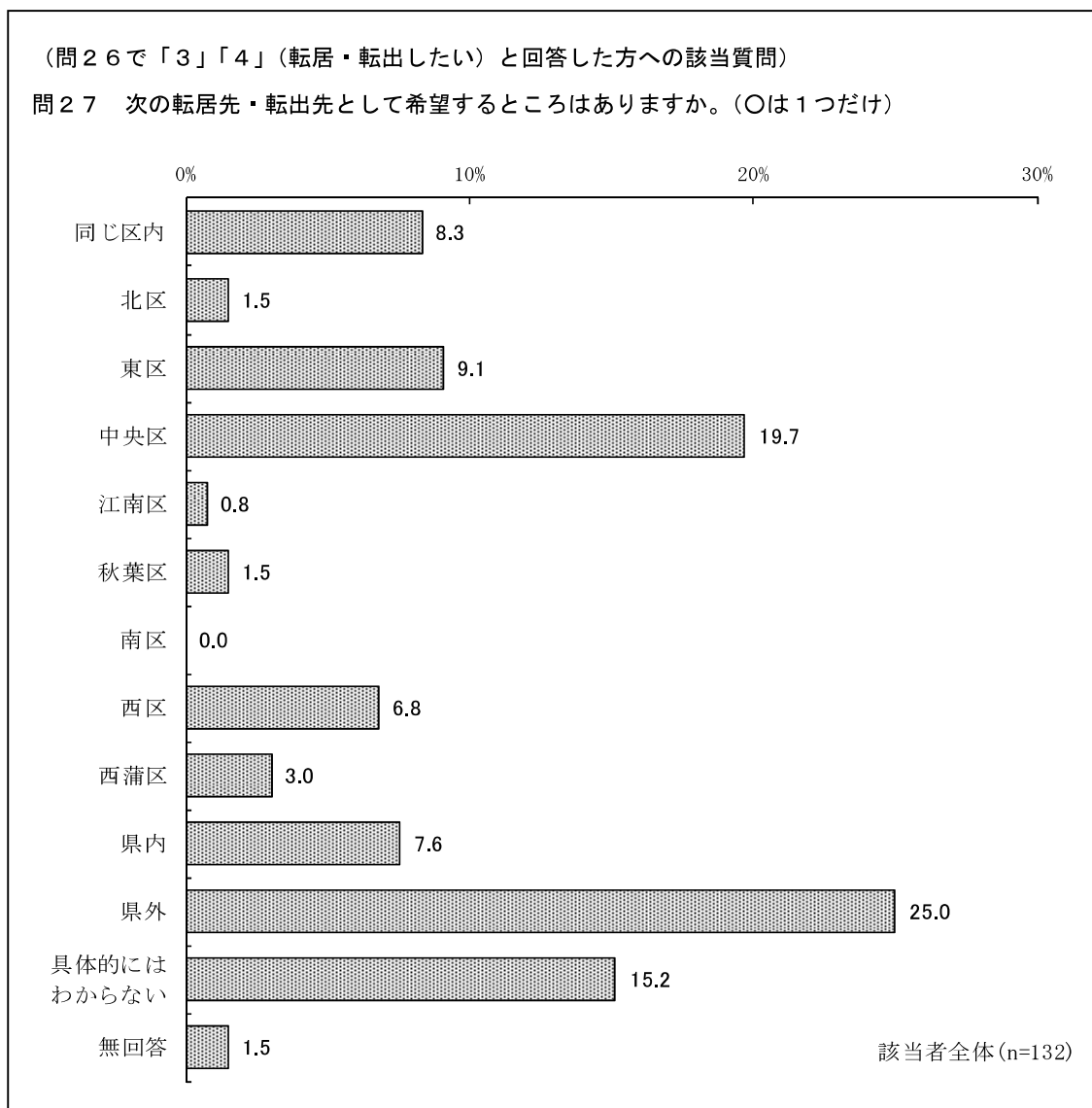
③年齢別

60代以上において、「これからも住みたい」の割合が高く、75歳以上(75.7%)では全体の4分の3を占めている。一方、40代以下では「当分の間は住みたい」の割合も高く、20代(32.5%)と30代(31.3%)では3割強となっている。また、「どちらともいえない、わからない」でも年齢が下がるにつれて割合は高くなる傾向がみられ、20代(17.9%)では2割弱となっている。

図3-4 現住所での居住継続意向（地区別／性別／年齢別）



(5) 希望する転居先・転出先



— 「県外」や「中央区」への転居・転出希望が多い —

問26で、「3」「4」(転居・転出したい)を回答した132人に対する質問である。

【全体結果】

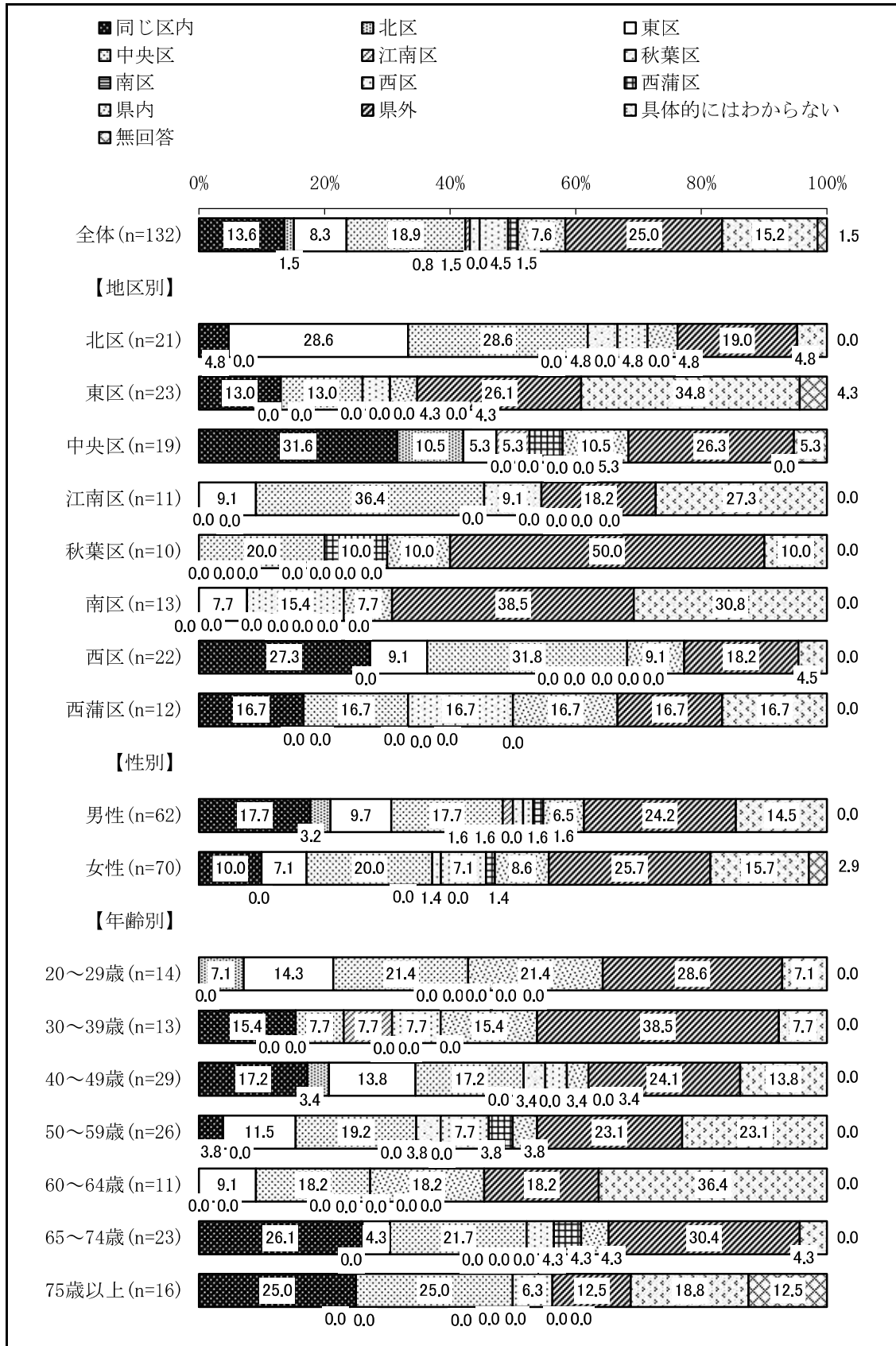
希望する転居・転出先としては「県外」(25.0%)が多く、4人に1人が回答している。以下、「中央区」(19.7%)、「東区」(9.1%)、「同区内」(8.3%)、「県内」(7.6%)、「西区」(6.8%)、「西蒲区」(6.8%)、「秋葉区」(1.5%)、「江南区」(0.8%)の順に続き、新潟市内が合計で半数(50.7%)を占めている。

また、「具体的にはわからない」が1割強(15.2%)みられる。

【属性別結果】(図3-5参照)

属性別のサンプル数が少ないため、分析に適さない。

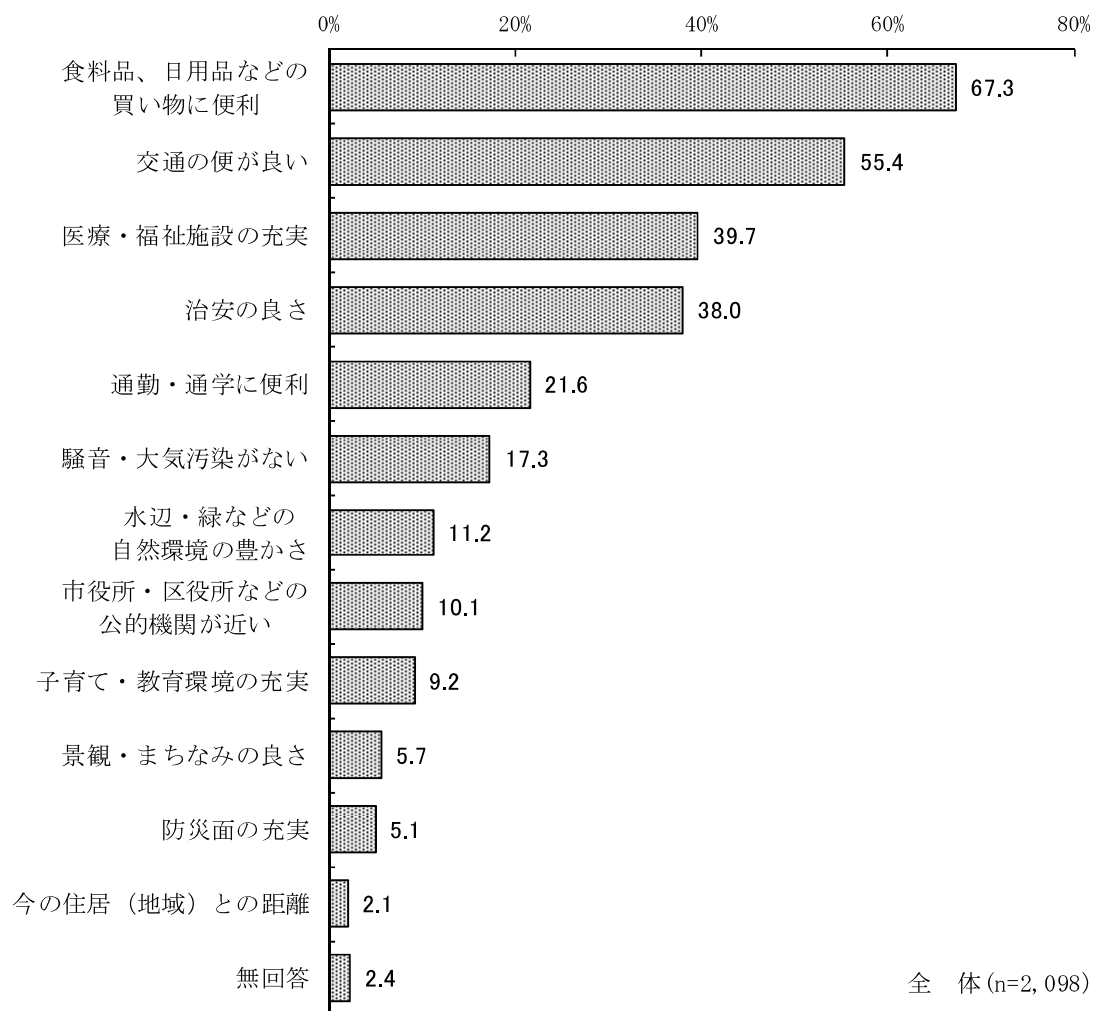
図3-5 希望する転居先・転出先（地区別／性別／年齢別）



(6) 居住地の選択の際に重視したいこと【立地条件・住環境】

問28 あなたが、居住地を選ぶ際に重視したい項目は何ですか。住み替える予定がない方でも、住み替えると仮定してお答えください。(〇は3つまで)

【立地条件・住環境】



— 7割近くが「食料品、日用品などの買い物に便利」であることを重視 —

【全体結果】

居住地を選ぶ際の、立地条件・住環境の面で重視したい項目（複数回答）については、「食料品、日用品などの買い物に便利」（67.3%）の割合が最も高くなっている。以下、「交通の便が良い」が半数強（55.4%）、「医療・福祉施設の充実」（39.7%）、「治安の良さ」（38.0%）が4割弱、「通勤・通学に便利」（21.6%）が2割台で続いている。

【属性別結果】（図 3-6 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「食料品、日用品などの買い物に便利」については、中央区（71.4%）の割合が高くなっている。「交通の便が良い」の割合は北区（60.9%）、「医療・福祉施設の充実」と「水辺・緑などの自然環境の豊かさ」の割合は西蒲区（それぞれ 45.2%、17.8%）が最も高くなっている。

②性別

「食料品、日用品などの買い物に便利」の割合は、女性の方が男性よりも高く、「水辺・緑などの自然環境の豊かさ」の割合は、男性の方が女性よりもやや高くなっている。

③年齢別

「治安の良さ」と「通勤・通学に便利」の割合は 20 代、「子育て・教育環境の充実」は 30 代、「医療・福祉施設の充実」は 65～74 歳、「市役所・区役所などの公的機関が近い」は 75 歳以上の割合が、それぞれ最も高くなっている。

図3-6 居住地の選択の際に重視したいこと【立地条件・住環境】

(地区別/性別/年齢別) 1/2

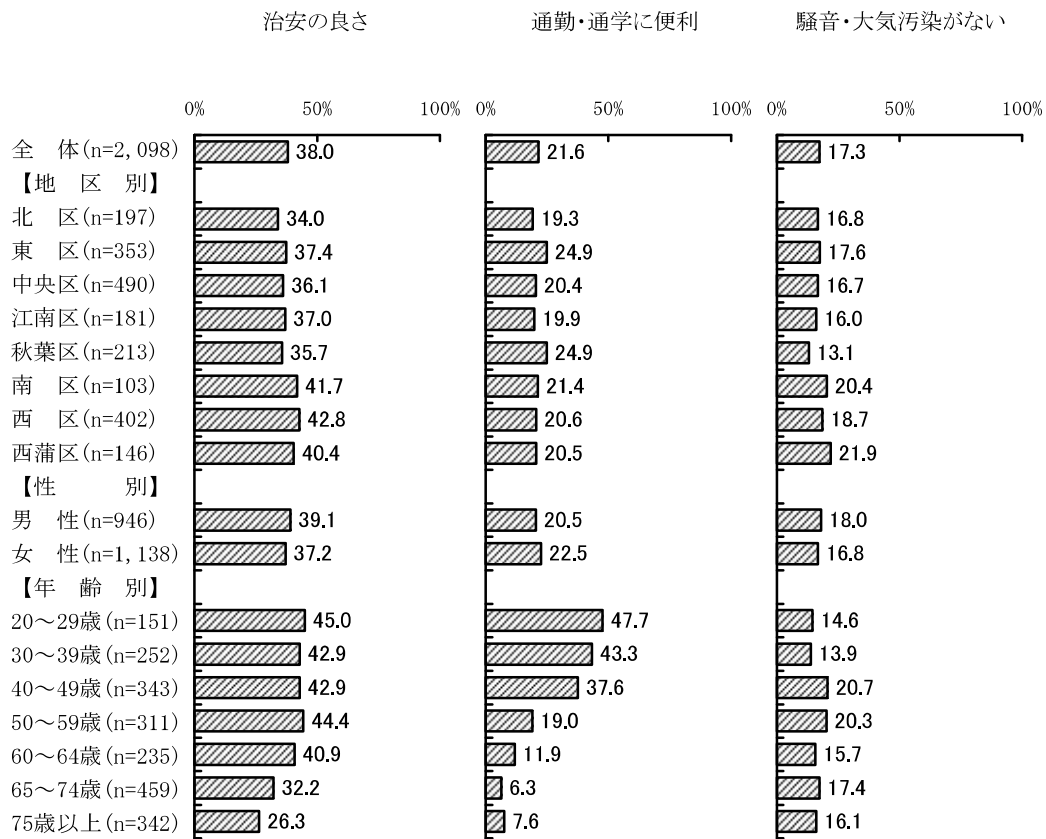
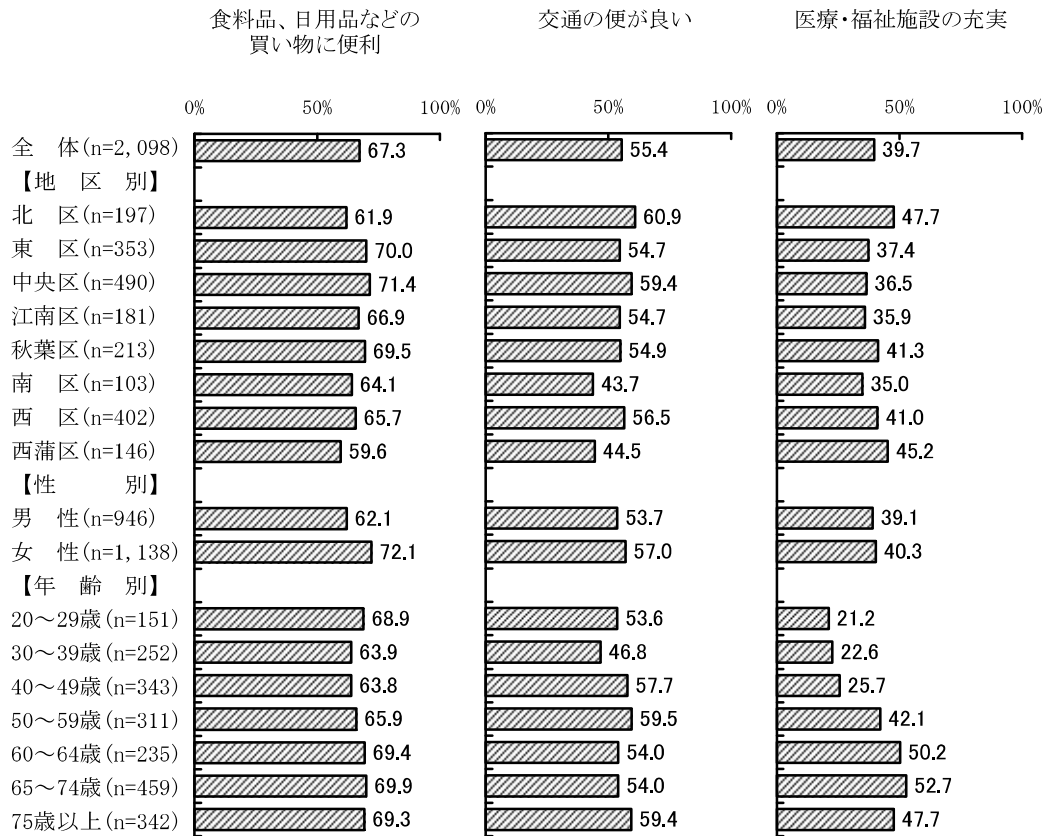
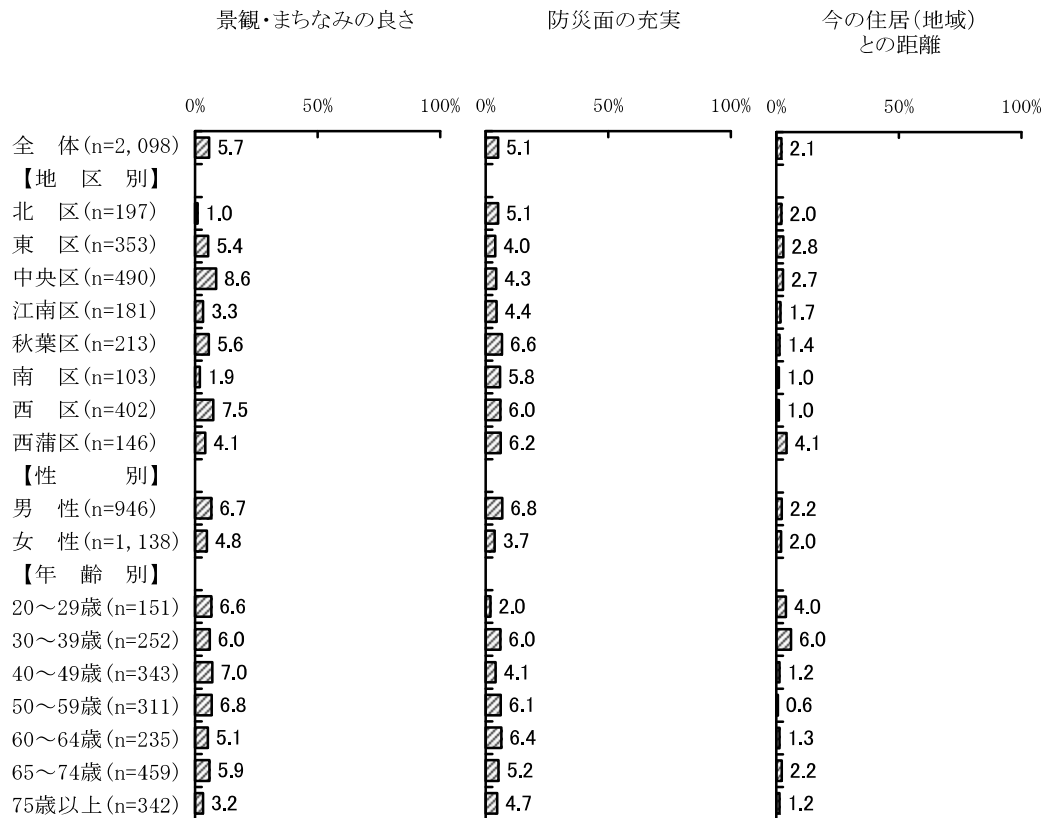
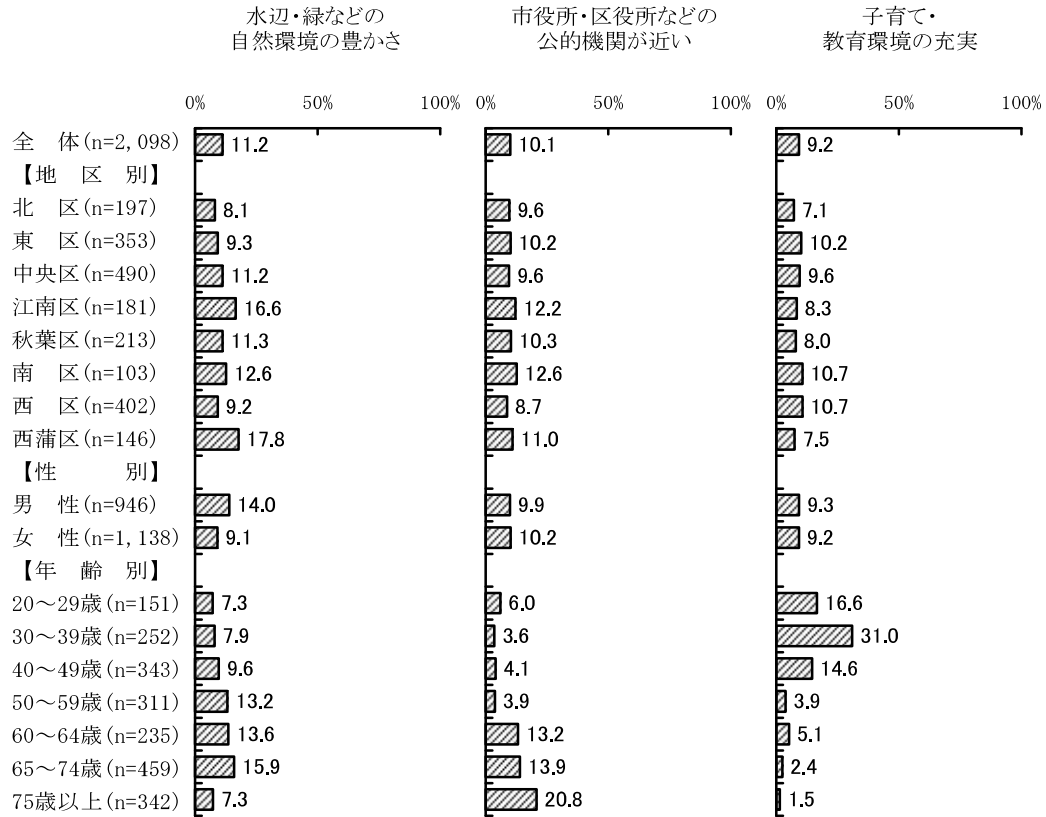


図3-6 居住地の選択の際に重視したいこと【立地条件・住環境】

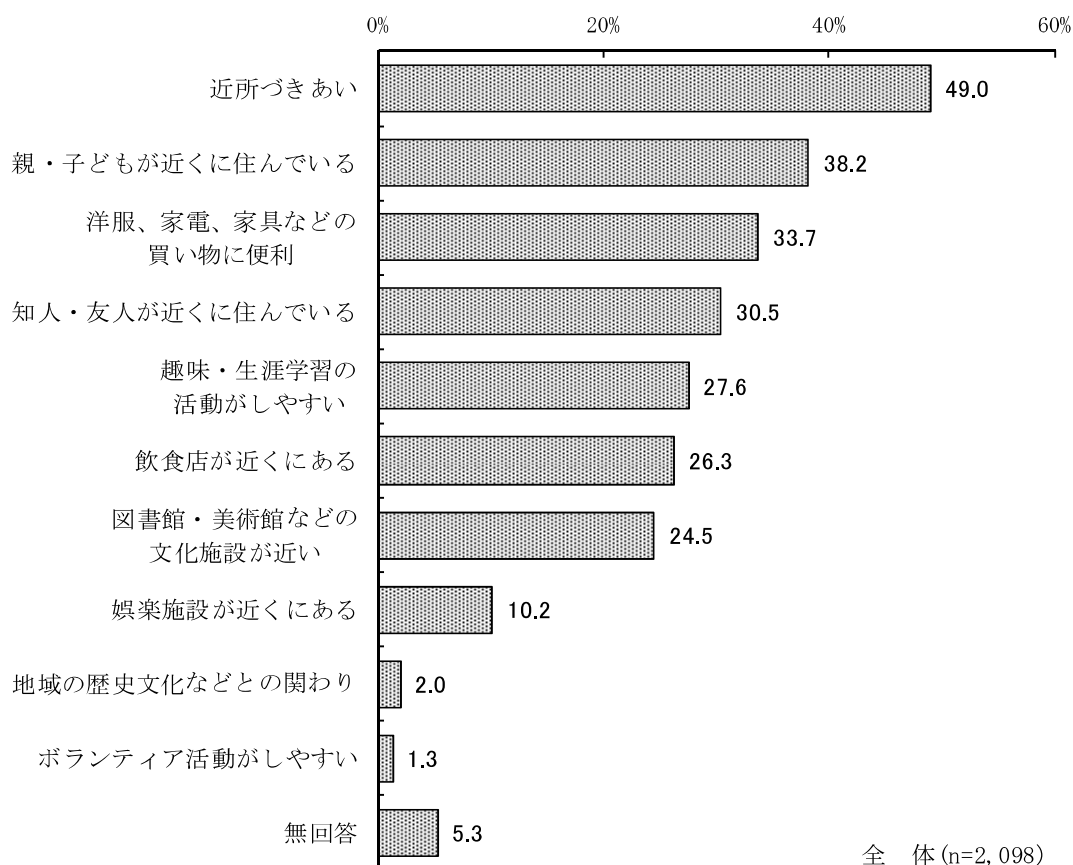
(地区別/性別/年齢別) 2/2



(7) 居住地の選択の際に重視したいこと【ライフスタイル】

問28 あなたが、居住地を選ぶ際に重視したい項目は何ですか。住み替える予定がない方でも、住み替えると仮定してお答えください。(〇は3つまで)

【ライフスタイル】



半数近くが「近所づきあい」を重視

【全体結果】

居住地を選ぶ際の、ライフスタイルの面で重視したい項目（複数回答）については、「近所づきあい」（49.0%）の割合が最も高くなっている。以下、「親・子どもが近くに住んでいる」（38.2%）、「洋服、家電、家具などの買い物に便利」（33.7%）、「知人・友人が近くに住んでいる」（30.5%）が3割台で、「趣味・生涯学習の活動がしやすい」（27.6%）、「飲食店が近くにある」（26.3%）、「図書館・美術館などの文化施設が近い」（24.5%）が2割台で続いている。

【属性別結果】（図 3-7 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「近所づきあい」については、南区（61.2%）の割合が高くなっている。「親・子どもが近くに住んでいる」の割合は秋葉区（46.5%）、「飲食店が近くにある」の割合は中央区（32.9%）、「図書館・美術館などの文化施設が近い」の割合は西区（30.1%）が最も高くなっている。

②性別

「親・子どもが近くに住んでいる」と「知人・友人が近くに住んでいる」の割合は、女性の方が男性よりも高く、「娯楽施設が近くにある」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

③年齢別

「洋服、家電、家具などの買い物に便利」「飲食店が近くにある」「娯楽施設が近くにある」の割合は 20 代、「親・子どもが近くに住んでいる」は 30 代、「図書館・美術館などの文化施設が近い」は 50 代、「近所づきあい」「趣味・生涯学習の活動がしやすい」は 60～64 歳、「医療・福祉施設の充実」は 65～74 歳、「知人・友人が近くに住んでいる」は 75 歳以上の割合が、それぞれ最も高くなっている。

図3-7 居住地の選択の際に重視したいこと【ライフスタイル】

(地区別/性別/年齢別) 1/2

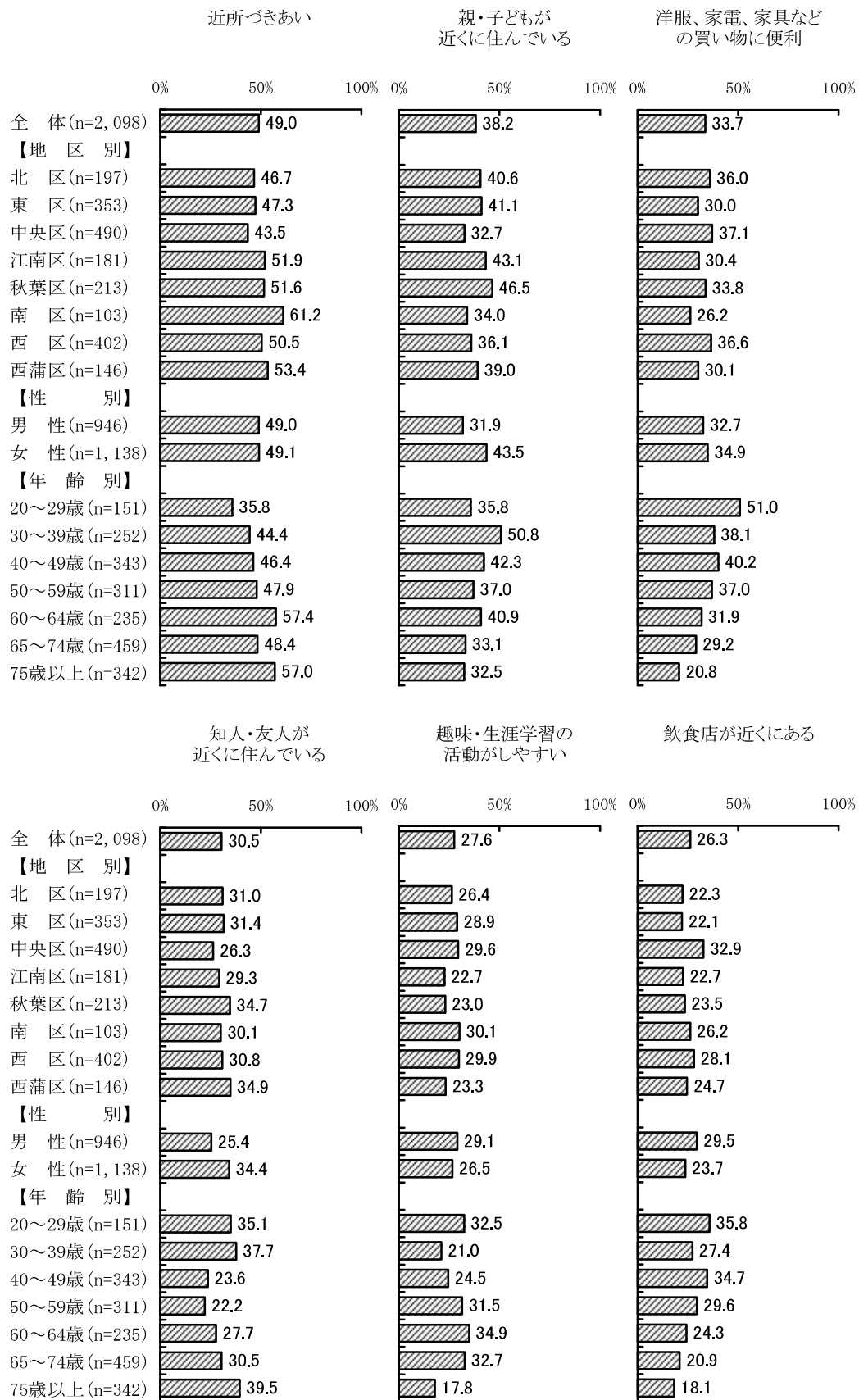


図3-7 居住地の選択の際に重視したいこと【ライフスタイル】

(地区別/性別/年齢別) 2/2

